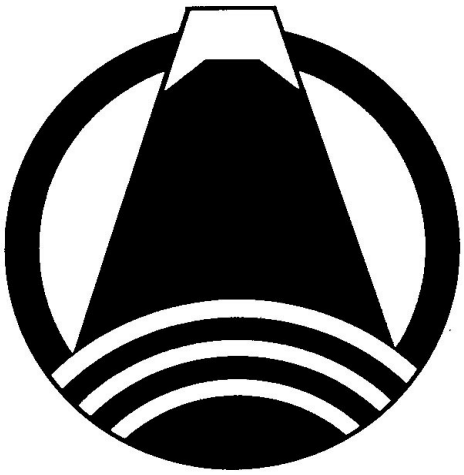
富 士 市 の 工 業

（令和８年度）



目　　次

Ⅰ　富士市の工業の概要

1　工業関係統計調査結果

⑴　令和７（2025）年経済構造実態調査結果概要 ・・・

Ⅲ　富士市の立地企業及び工業団地の概要

１　主要進出企業の状況 ・・・

⑵　ふじさん工業用水道（旧富士川工業用水道） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３７
ア　施設の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

Ⅰ　富士市の工業の概要

1　工業関係統計調査結果

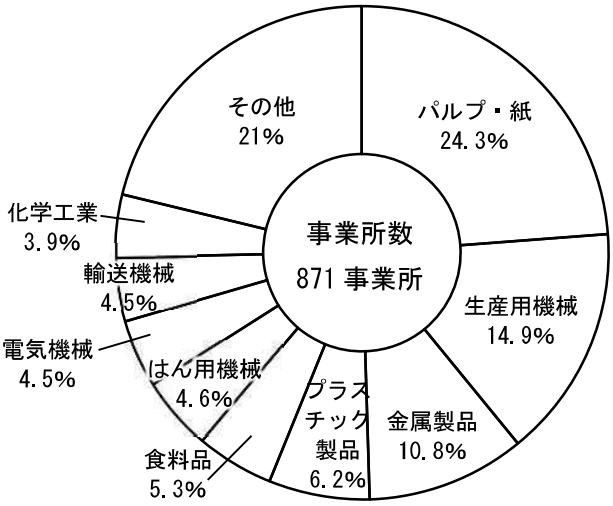
⑴ 令和７（2025）年経済構造実態調査結果概要

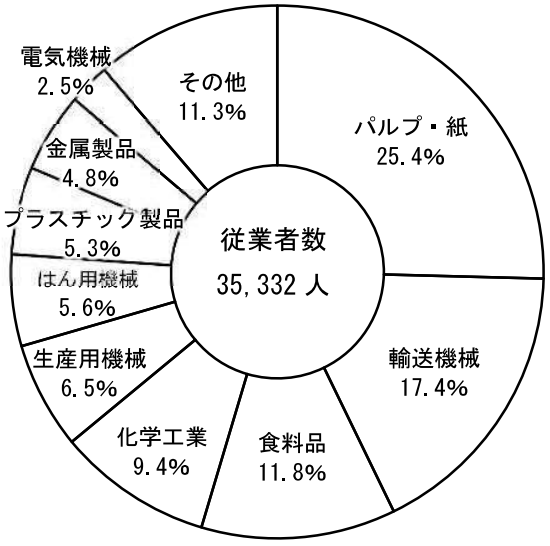
令和７（2025）年６月１日現在における富士市の製造業に属する事業所は 871 事業所、従業者数は 35,332 人であり、製造品出荷額等は１兆 6,791 億 3,029 万円となっている。

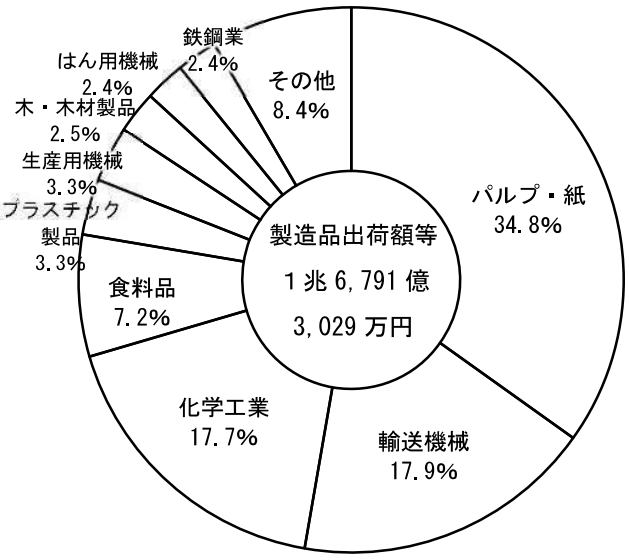
これらを前年の数値と比較すると、事業所数 22 事業所(2.5%)の減少、従業者数は 209 人(0.6%)の増加、製造品出荷額等は 915 億 4,146 万円（5.5%）の増加となった。

また、県下市町別の製造品出荷額等をみると、第１位は静岡市（２兆 4,739 億円）で県下の総製造品出荷額等の 12.5%を占め、次いで浜松市２兆 3,155 億円（11.7%）、湖西市１兆 8,758 億円（9.5%）、磐田市１兆 7,014 億円（8.6%）、富士市１兆 6,791 億円（8.5%）の順となっており、この５市で県全体の 50.8%を占めている。

ー全事業所ー







資料：総務省・経済産業省「2025 年経済構造実態調査」

ア　事業所数（全事業所）

	Ｒ５年		Ｒ６年		
	事業所数（事業所）	構成比（%）	事業所数（事業所）	構成比（%）	前年比（事業所）
総数	893	100.0	871	100.0	△22
9 食料品	46	5.2	46	5.3	ー
10 飲料・たばこ・飼料	18	2.0	18	2.1	ー
11 繊維工業	16	1.8	15	1.7	△1
12 木材・木製品	18	2.0	18	2.1	ー
13 家具・装備品	6	0.7	6	0.7	ー
14 パルプ・紙	213	23.9	212	24.3	△1
15 印刷	26	2.9	25	2.9	△1
16 化学工業	36	4.0	34	3.9	△2
17 石油・石炭	3	0.3	3	0.3	ー
18 プラスチック製品	58	6.5	54	6.2	△4
19 ゴム製品	14	1.6	14	1.6	ー
20 なめし革・同製品	ー	ー	ー	ー	ー
21 窯業・土石	15	1.7	15	1.7	ー
22 鉄鋼業	22	2.5	19	2.2	△3
23 非鉄金属	3	0.3	3	0.3	ー
24 金属製品	94	10.5	94	10.8	ー
25 はん用機械	43	4.8	40	4.6	△3
26 生産用機械	134	15.0	130	14.9	△4
27 業務用機械	9	1.0	8	0.9	△1
28 電子部品・デバイス	8	0.9	8	0.9	ー
29 電気機械	40	4.5	39	4.5	△1
30 情報通信機械	1	0.1	1	0.1	ー
31 輸送機械	38	4.3	39	4.5	1
32 その他	32	3.6	30	3.4	△2

※「ー」は該当数値なし

- 前年に比べて全体で 22 事業所（2.4%）減少
- 前年に比べ増加した産業は１種類（輸送機械１事業所）
- 前年に比べ減少した産業は 10 種類（繊維工業１事業所、パルプ・紙１事業所、印刷１事業所、化学工業２事業所、プラスチック製品４事業所、鉄鋼業３事業所、生産用機械４事業所、業務用機械１事業所、電気機械１事業所、その他２事業所）

イ　従業者数（全事業所）

	Ｒ５年		Ｒ６年		
	従業員数（人）	構成比（%）	従業員数（人）	構成比（%）	前年比（人）
総数	35,123	100	35,332	100	209
9 食料品	3,673	10.5	4,165	11.8	492
10 飲料・たばこ・飼料	499	1.4	478	1.4	△21
11 繊維工業	201	0.6	179	0.5	△22
12 木材・木製品	614	1.7	601	1.7	△13
13 家具・装備品	23	0.1	23	0.1	－
14 パルプ・紙	8,919	25.4	8,966	25.4	47
15 印刷	276	0.8	260	0.7	△16
16 化学工業	3,341	9.5	3,304	9.4	△37
17 石油・石炭	33	0.1	31	0.1	△2
18 プラスチック製品	1,939	5.5	1,883	5.3	△56
19 ゴム製品	191	0.5	203	0.6	12
20 なめし革・同製品	－	－	－	－	－
21 窯業・土石	314	0.9	322	0.9	8
22 鉄鋼業	603	1.7	575	1.6	△28
23 非鉄金属	47	0.1	38	0.1	－
24 金属製品	1,805	5.1	1,683	4.8	△122
25 はん用機械	1,998	5.7	1,964	5.6	△34
26 生産用機械	2,453	7.0	2,310	6.5	△143
27 業務用機械	503	1.4	598	1.7	95
28 電子部品・デバイス	376	1.1	357	1.0	△19
29 電気機械	924	2.6	880	2.5	△44
30 情報通信機械	9	0.0	10	0.0	1
31 輸送機械	6,007	17.1	6141	17.4	134
32 その他	375	1.1	361	1.0	△14

※「－」は該当数値なし

- 前年に比べて全体で 209 人（0.6%）増加
- 前年に比べ増加した産業は 7 種類（食料品 492 人、輸送機械 134 人等）
- 前年に比べ減少した産業は 14 種類（生産用機械 143 人、金属製品 122 人等）

ウ　製造品出荷額等（全事業所）

	Ｒ５年		Ｒ６年		
	製造品出荷額等（万円）	構成比（%）	製造品出荷額等（万円）	構成比（%）	前年比（%）
総数	158,758,883	100	167,913,029	100	5.8
9 食料品	12,589,612	7.9	12,131,754	7.2	△3.6
10 飲料・たばこ・飼料	3,650,383	2.3	3,559,635	2.1	△2.5
11 繊維工業	155,368	0.1	154,124	0.1	△0.8
12 木材・木製品	4,674,619	2.9	4,267,565	2.5	△8.7
13 家具・装備品	28,992	0.0	26,911	0.0	△7.2
14 パルプ・紙	54,784,513	34.5	58,440,340	34.8	6.7
15 印刷	530,230	0.3	657,185	0.4	23.9
16 化学工業	26,952,021	17.0	29,734,920	17.7	10.3
17 石油・石炭	478,869	0.3	298,614	0.2	△37.6
18 プラスチック製品	5,467,400	3.4	5,596,672	3.3	2.4
19 ゴム製品	317,807	0.2	335,530	0.2	5.6
20 なめし革・同製品	－	－	－	－	－
21 窯業・土石	1,220,108	0.8	1,505,284	0.9	23.4
22 鉄鋼業	3,716,544	2.3	3,976,937	2.4	7.0
23 非鉄金属	X	－	X	－	－
24 金属製品	3,398,895	2.1	3,543,116	2.1	4.2
25 はん用機械	4,114,990	2.6	4,084,548	2.4	△0.7
26 生産用機械	5,792,943	3.7	5,527,244	3.3	△4.6
27 業務用機械	920,306	0.6	912,783	0.5	△0.8
28 電子部品・デバイス	666,413	0.4	514,015	0.3	△22.9
29 電気機械	1,830,808	1.2	1,723,623	1.0	△5.9
30 情報通信機械	X	－	X	－	－
31 輸送機械	26,687,206	16.8	30,004,152	17.9	12.4
32 その他	670,191	0.4	783,609	0.5	16.9

※「－」は該当数値なし、「X」は秘匿箇所

- 前年に比べて全体で 915 億 4,146 万円（5.8%）増加
- 前年に比べ増加した産業は 10 種類（輸送機械 331 億 6,946 万円、パルプ・紙 365 億 5,827 万円等）
- 前年に比べ減少した産業は 11 種類（食料品 45 億 7,858 万円、木材・木製品 40 億 7,054 万円等）

エ　現金給与総額　－ 1,876 億 512 万円 －（全事業所）

- 構成比が最大の産業はパルプ・紙 456 億 3,194 万円（24.3%）で、輸送用機械器具 444 億 4,637 万円（23.7%）がこれに続く

オ　原材料・燃料・電力使用額等　－ 1 兆 867 億 2,833 万円 －（全事業所）

- 構成比が最大の産業はパルプ・紙 3,845 億 4,085 万円（35.4%）で、輸送用機械器具 1,970 億 4,140 万円（18.1%）がこれに続く

カ　粗付加価値額　－ 5,677 億 8,569 万円 －（全事業所）

- 構成比が最大の産業はパルプ・紙 1,855 億 7,349 万円（32.7%）で、輸送用機械器具 1,071 億 3,532 万円（18.9%）がこれに続く

資料：総務省・経済産業省「2024 年、2025 年経済構造実態調査」

⑵ 産業別の事業所数、従業者数、製造品出荷額等の構成比

ア　事業所数（全事業所）

産業中分類	静岡県			富士市			富士市のウエイト B／A（%）
	R５年	R６年		R５年	R６年		
	事業所数（事業所）	A 事業所数（事業所）	構成比（%）	事業所数（事業所）	B 事業所数（事業所）	構成比（%）	
総数	10,530	10,160	100.0	893	871	100.0	8.6
軽工業計	5,013	4,848	47.7	462	423	48.6	8.7
重化学工業計	5,517	5,312	52.3	431	448	51.4	8.4
9 食料品	1,107	1,074	10.6	46	46	5.3	4.3
10 飲料・たばこ・飼料	584	566	5.6	18	18	2.1	3.2
11 繊維工業	328	308	3.0	16	15	1.7	4.9
12 木材・木製品	283	274	2.7	18	18	2.1	6.6
13 家具・装備品	308	292	2.9	6	6	0.7	2.1
14 パルプ・紙	483	476	4.7	213	212	24.3	44.5
15 印刷	371	354	3.5	26	25	2.9	7.1
16 化学工業	234	224	2.2	36	34	3.9	15.2
17 石油・石炭	37	36	0.4	3	3	0.3	8.3
18 プラスチック製品	727	701	6.9	58	54	6.2	7.7
19 ゴム製品	102	100	1.0	14	14	1.6	14.0
20 なめし革・同製品	13	13	0.1	－	－	－	－
21 窯業・土石	246	243	2.4	15	15	1.7	6.2
22 鉄鋼業	195	187	1.8	22	19	2.2	10.2
23 非鉄金属	149	142	1.4	3	3	0.3	2.1
24 金属製品	1,233	1,197	11.8	94	94	10.8	7.9
25 はん用機械	303	292	2.9	43	40	4.6	13.7
26 生産用機械	1,314	1,253	12.3	134	130	14.9	10.4
27 業務用機械	178	174	1.7	9	8	0.9	4.6
28 電子部品・デバイス	137	130	1.3	8	8	0.9	6.2
29 電気機械	619	600	5.9	40	39	4.5	6.5
30 情報通信機械	33	31	0.3	1	1	0.1	3.2
31 輸送機械	1,085	1,046	10.3	38	39	4.5	3.7
32 その他	461	447	4.4	32	30	3.4	6.7

※　下線部は重化学工業

イ　従業者数（全事業所）

産業中分類	静岡県			富士市			富士市のウエイト B／A（%）
	Ｒ５年	Ｒ６年		Ｒ５年	Ｒ６年		
	従業者数（人）	A 従業者数（人）	構成比（%）	従業者数（人）	B 従業者数（人）	構成比（%）	
総数	408,750	400,319	100.0	35,123	35,332	100.0	8.8
軽工業計	143,683	143,317	35.8	17,024	17,441	49.4	12.2
重化学工業計	265,067	257,002	64.2	18,099	17,891	50.6	6.7
9 食料品	44,160	46,136	11.5	3,673	4,165	11.8	9.0
10 飲料・たばこ・飼料	12,310	12,117	3.0	499	478	1.4	3.9
11 繊維工業	5,450	4,931	1.2	201	179	0.5	3.6
12 木材・木製品	4,346	4,208	1.1	614	601	1.7	14.3
13 家具・装備品	4,886	4,735	1.2	23	23	0.1	0.5
14 パルプ・紙	18,145	18,271	4.6	8,919	8,966	25.4	49.1
15 印刷	7,728	7,033	1.8	276	260	0.7	3.7
16 化学工業	25,017	24,088	6.0	3,341	3,304	9.4	13.7
17 石油・石炭	435	431	0.1	33	31	0.1	7.2
18 プラスチック製品	25,268	25,060	6.3	1,939	1,883	5.3	7.5
19 ゴム製品	6,534	6,375	1.6	191	203	0.6	3.2
20 なめし革・同製品	168	162	0.0	－	－	－	－
21 窯業・土石	5,135	5,056	1.3	314	322	0.9	6.4
22 鉄鋼業	3,891	3,796	0.9	603	575	1.6	15.1
23 非鉄金属	8,315	8,285	2.1	47	38	0.1	0.5
24 金属製品	24,782	23,948	6.0	1,805	1,683	4.8	7.0
25 はん用機械	10,318	10,341	2.6	1,998	1,964	5.6	19.0
26 生産用機械	30,746	28,189	7.0	2,453	2,310	6.5	8.2
27 業務用機械	10,612	10,734	2.7	503	598	1.7	5.6
28 電子部品・デバイス	11,561	11,087	2.8	376	357	1.0	3.2
29 電気機械	44,689	43,309	10.8	924	880	2.5	2.0
30 情報通信機械	2,896	3,354	0.8	9	10	0.0	0.3
31 輸送機械	91,805	89,440	22.3	6,007	6,141	17.4	6.9
32 その他	9,553	9,233	2.3	375	361	1.0	3.9

※　下線部は重化学工業

ウ　製造品出荷額等（全事業所）

産業中分類	静岡県			富士市			富士市のウエイト B／A（%）
	R５年	R６年		R５年	R６年		
	製造品出荷額等（百万円）	A 製造品出荷額等（百万円）	構成比（%）	製造品出荷額等（百万円）	B 製造品出荷額等（百万円）	構成比（%）	
総数	19,773,249	19,771,623	100.0	1,587,588	1,679,130	100.0	8.0
軽工業計	5,612,356	5,751,844	27.7	840,888	875,934	52.2	15.2
重化学工業計	14,160,893	14,019,779	72.3	746,700	803,196	47.8	5.7
9 食料品	1,490,500	1,570,123	7.9	125,896	121,317	7.2	7.7
10 飲料・たばこ・飼料	1,135,372	1,103,992	5.6	36,503	35,596	2.1	3.2
11 繊維工業	109,310	99,556	0.5	1,553	1,541	0.1	1.5
12 木材・木製品	246,627	247,769	1.3	46,746	42,675	2.5	17.2
13 家具・装備品	137,212	139,934	0.7	289	269	0.0	0.2
14 パルプ・紙	951,282	1,010,685	5.1	547,845	584,403	34.8	57.8
15 印刷	193,340	185,910	0.9	5,302	6,571	0.4	3.5
16 化学工業	2,572,439	2,472,537	12.5	269,520	297,349	17.7	12.0
17 石油・石炭	31,278	29,306	0.1	4,788	2,986	0.2	10.2
18 プラスチック製品	684,308	747,917	3.8	54,674	55,966	3.3	7.5
19 ゴム製品	215,670	205,674	1.0	3,178	3,355	0.2	1.6
20 なめし革・同製品	2,856	2,820	0.0	－	－	－	－
21 窯業・土石	161,192	165,186	0.8	12,201	15,052	0.9	9.1
22 鉄鋼業	263,133	254,790	1.3	37,165	39,769	2.4	15.6
23 非鉄金属	518,829	585,626	3.0	X	X	－	－
24 金属製品	677,391	683,020	3.5	33,988	35,431	2.1	5.2
25 はん用機械	343,071	354,433	1.8	41,149	40,845	2.4	11.5
26 生産用機械	911,997	890,549	4.5	57,929	55,272	3.3	6.2
27 業務用機械	375,065	394,401	2.0	9,203	9,127	0.5	2.3
28 電子部品・デバイス	365,509	311,842	1.6	6,664	5,140	0.3	1.6
29 電気機械	2,832,691	2,817,746	14.3	18,308	17,236	1.0	0.6
30 情報通信機械	207,569	206,576	1.0	X	X	－	－
31 輸送機械	5,061,921	5,018,953	25.4	266,872	300,041	17.9	6.0
32 その他	284,687	272,280	1.4	6,701	7,836	0.5	2.9
秘　　匿	－	－	－	1,114	1,353	0.1	－

※　下線部は重化学工業
※　「－」は該当数値なし、「X」は秘匿箇所

⑶　製造品出荷額等及び上位構成産業の推移（従業者４人以上の事業所）

年	製造品出荷額等 （万円）	第１位 （%）	第２位 （%）	第３位 （%）	第４位 （%）	第５位 （%）
H22	142,486,260 (81.0)	パルプ・紙 (31.5)	輸送機械 (21.8)	化学工業 (17.9)	電気機械 (5.9)	食料品 (3.9)
H23	135,638,317 (81.1)	パルプ・紙 (32.5)	輸送機械 (21.1)	化学工業 (19.3)	食料品 (4.5)	生産用機械 (3.7)
H24	130,245,423 (83.1)	パルプ・紙 (30.2)	輸送機械 (25.9)	化学工業 (18.3)	食料品 (4.7)	生産用機械 (4.0)
H25	127,908,680 (82.5)	パルプ・紙 (29.4)	輸送機械 (25.5)	化学工業 (18.7)	食料品 (4.7)	生産用機械 (4.2)
H26	136,768,137 (79.7)	パルプ・紙 (28.1)	輸送機械 (21.6)	化学工業 (16.2)	電気機械 (8.7)	食料品 (5.1)
H27	144,516,084 (79.0)	パルプ・紙 (29.8)	輸送機械 (19.2)	化学工業 (15.3)	はん用機械 (8.4)	食料品 (6.3)
H28	135,711,372 (78.6)	パルプ・紙 (32.6)	輸送機械 (18.3)	化学工業 (15.4)	食料品 (7.4)	はん用機械 (4.9)
H29	138,164,569 (79.2)	パルプ・紙 (32.7)	輸送機械 (19.1)	化学工業 (16.0)	食料品 (6.9)	生産用機械 (4.5)
H30	143,226,160 (79.2)	パルプ・紙 (33.1)	輸送機械 (18.5)	化学工業 (16.2)	食料品 (7.2)	生産用機械 (4.2)
R元	142,504,833 (78.9)	パルプ・紙 (33.6)	化学工業 (17.2)	輸送機械 (16.8)	食料品 (7.3)	生産用機械 (4.0)
R２	135,508,292 (78.7)	パルプ・紙 (34.5)	化学工業 (17.9)	輸送機械 (15.7)	食料品 (7.1)	生産用機械 (3.5)
R３	146,408,513 (78.9)	パルプ・紙 (33.8)	化学工業 (17.6)	輸送機械 (16.4)	食料品 (6.6)	生産用機械 (3.9)
R４	151,356,424 (78.2)	パルプ・紙 (34.3)	化学工業 (18.1)	輸送機械 (14.3)	食料品 (7.6)	生産用機械 (3.8)
R５	158,758,883 (79.9)	パルプ・紙 (34.5)	化学工業 (17.0)	輸送機械 (16.8)	食料品 (7.9)	生産用機械 (3.7)
R６	167,913,029 (80.9)	パルプ・紙 (34.8)	輸送機械 (17.9)	化学工業 (17.7)	食料品 (7.2)	プラスチック製品 (3.3)

資料：総務省・経済産業省「2022年～2025年経済構造実態調査」、令和３年経済センサス活動調査、富士市「2020年工業統計調査結果」

※「製造品出荷額等」欄のカッコ内は、第５位までの産業が占める割合

※ 令和３年以降は全事業所の数値

2　県内における富士市の工業の位置

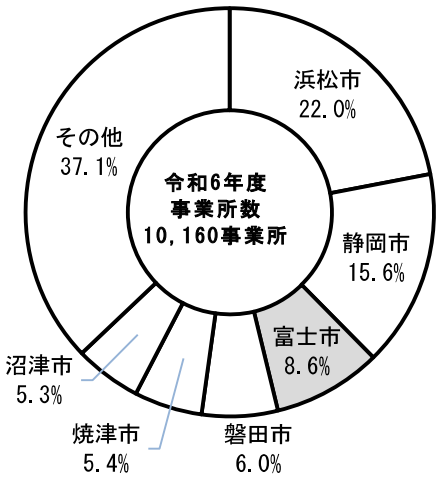
(1)　事業所数・従業者数・製造品出荷額等のシェアの推移

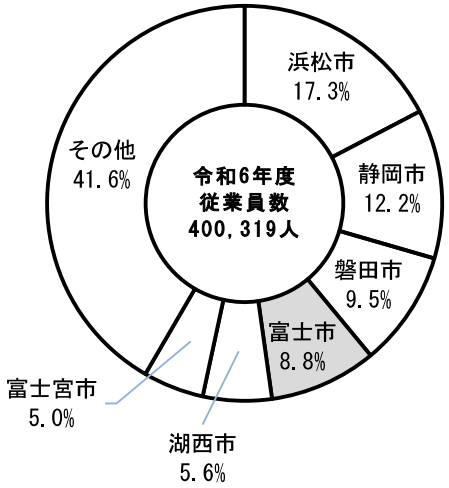
ア　事業所数・従業者数（従業者４人以上の事業所）

年	事業所数（事業所）						従業者数（人）					
	静岡県 A	前年比（%）	富士市 B	前年比（%）	県内順位	シェア B/A（%）	静岡県 A	前年比（%）	富士市 B	前年比（%）	県内順位	シェア B/A（%）
H22	10,768	△ 4.4	934	△ 2.4	3	8.7	409,030	△ 0.6	34,216	△ 2.3	4	8.4
H23	11,194	4.0	901	△ 3.5	3	8.0	396,465	△ 3.1	32,666	△ 4.5	4	8.2
H24	10,431	△ 6.8	872	△ 3.2	3	8.4	393,687	△ 0.7	31,803	△ 2.6	4	8.1
H25	10,037	△ 3.8	860	△ 1.4	3	8.6	388,877	△ 1.2	31,822	0.1	4	8.2
H26	9,777	△ 2.6	833	△ 3.1	3	8.5	386,924	△ 0.5	32,742	2.9	4	8.5
H27	10,492	7.3	896	7.6	3	8.5	396,406	2.5	34,514	5.4	4	8.7
H28	9,299	△ 11.4	799	△ 10.8	3	8.6	398,450	0.5	35,985	4.3	3	9.0
H29	9,138	△ 1.7	792	△ 0.9	3	8.7	405,154	1.7	36,450	1.3	3	9.0
H30	9,002	△ 1.5	775	△ 2.2	3	8.6	413,309	2.0	36,555	0.2	4	8.8
R元	8,786	△ 2.4	771	△ 0.5	3	8.8	413,000	△ 0.1	35,752	△ 2.2	4	8.7
R２	8,602	△ 2.1	775	0.5	3	9.0	401,827	△ 2.7	35,036	△ 2.0	4	8.7
R３	10,526	―	885	―	3	8.4	404,241	―	34,522	―	4	8.5
R４	10,586	0.6	896	0.1	3	8.5	409,607	1.3	34,578	0.2	4	8.4
R５	10,530	△0.5	893	△0.3	3	8.5	408,750	△0.2	35,123	1.6	4	8.6
R６	10,160	△3.5	871	△2.5	3	8.6	400,319	△2.1	35,332	0.6	4	8.8

資料：総務省・経済産業省「2022 年～2025 年経済構造実態調査」、令和３年経済センサス活動調査、
富士市「2020 年工業統計調査結果」

※　令和３年以降は全事業所の数値



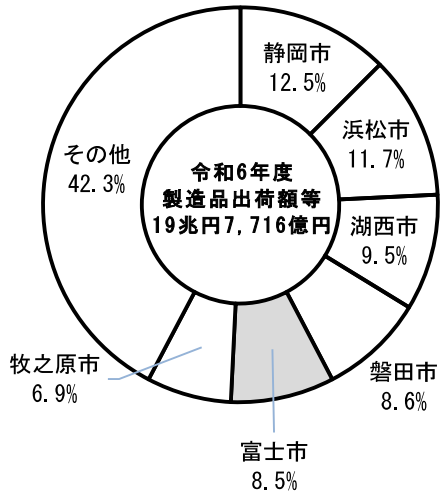


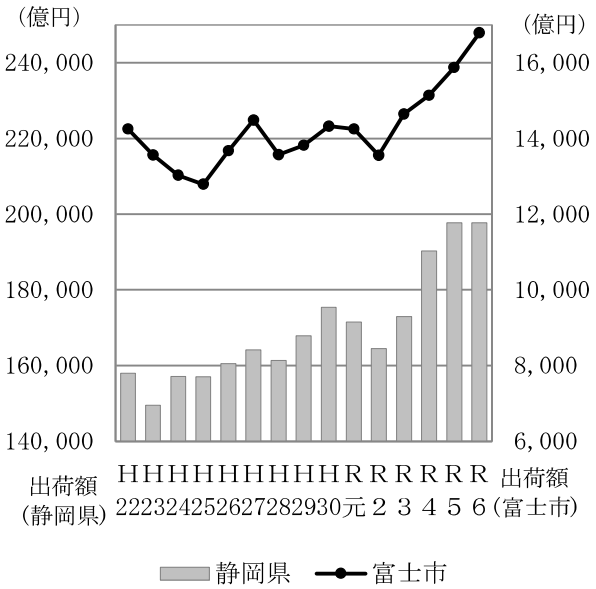
イ　製造品出荷額等（従業者４人以上の事業所）

年	製造品出荷額等（百万円）						
	静岡県 A	前年比（%）	都道府県順位	富士市 B	前年比（%）	県内順位	シェア B／A（%）
H22	15,793,109	4.9	3	1,424,863	5.4	5	9.0
H23	14,949,739	△ 5.3	4	1,356,383	△ 4.8	5	9.1
H24	15,707,724	5.1	4	1,302,454	△ 4.0	5	8.3
H25	15,699,131	△ 0.1	4	1,279,087	△ 1.8	5	8.1
H26	16,050,724	2.2	4	1,367,681	6.9	5	8.5
H27	16,412,474	2.3	4	1,448,538	5.9	5	8.8
H28	16,132,179	△ 1.7	3	1,357,114	△ 6.3	5	8.4
H29	16,787,113	4.1	4	1,381,646	1.8	5	8.2
H30	17,539,461	4.4	4	1,432,262	3.6	5	8.1
R元	17,153,997	△ 2.2	3	1,425,048	△ 0.5	5	8.3
R２	16,451,286	△ 4.1	3	1,355,083	△ 4.1	5	8.2
R３	17,290,539	－	4	1,464,085	－	5	8.5
R４	19,029,052	10.1	3	1,513,564	3.4	5	8.0
R５	19,773,249	3.8	2	1,587,588	4.7	5	8.0
R６	19,771,623	△0.008	3	1,679,130	5.5	5	8.5

資料：総務省・経済産業省「2022 年～2025 年経済構造実態調査」、令和３年経済センサス活動調査、
富士市「2020 年工業統計調査結果」

※ 令和３年以降は全事業所の数値





⑵ 県内市別の事業所数・従業者数・製造品出荷額等（全事業所）

市別	事業所数（事業所）			従業者数（人）			製造品出荷額等（百万円）		
	Ｒ５年	Ｒ６年	構成比（%）	Ｒ５年	Ｒ６年	構成比（%）	Ｒ５年	Ｒ６年	構成比（%）
総　数	10,530	10,160	100.0	408,750	400,319	100.0	19,773,248	19,771,623	100.0
静岡市	1,668	1,586	15.6	50,848	48,842	12.2	2,496,629	2,473,931	12.5
浜松市	2,317	2,235	22.0	71,721	69,446	17.3	2,373,613	2,315,539	11.7
沼津市	551	537	5.3	18,109	17,693	4.4	785,800	801,144	4.1
熱海市	23	23	0.2	204	207	0.1	2,643	3,471	0.0
三島市	197	192	1.9	6,149	5,860	1.5	217,047	209,738	1.1
富士宮市	376	368	3.6	19,618	20,007	5.0	811,145	796,746	4.0
伊東市	66	63	0.6	631	573	0.1	10,561	9,509	0.0
島田市	351	340	3.3	10,850	10,831	2.7	389,474	420,730	2.1
富士市	893	871	8.6	35,123	35,332	8.8	1,587,588	1,679,130	8.5
磐田市	620	610	6.0	38,584	37,967	9.5	1,771,227	1,701,428	8.6
焼津市	575	544	5.4	16,664	16,631	4.2	681,919	697,293	3.5
掛川市	394	380	3.7	19,759	18,887	4.7	1,345,818	1,228,178	6.2
藤枝市	359	355	3.5	12,731	12,641	3.2	510,863	548,644	2.8
御殿場市	179	175	1.7	8,325	8,067	2.0	484,380	480,134	2.4
袋井市	248	243	2.4	14,118	14,025	3.5	801,396	777,139	3.9
下田市	13	13	0.1	120	108	0.0	1,311	1,354	0.0
裾野市	118	111	1.1	5,172	5,100	1.3	285,900	308,664	1.6
湖西市	230	220	2.2	22,764	22,515	5.6	1,721,793	1,875,893	9.5
伊豆市	66	61	0.6	896	906	0.2	14,221	14,643	0.1
御前崎市	115	112	1.1	3,685	3,437	0.9	154,007	151,081	0.8
菊川市	179	173	1.7	8,483	8,664	2.2	318,084	333,673	1.7
伊豆の国市	103	98	1.0	3,869	3,648	0.9	169,021	165,406	0.8
牧之原市	230	222	2.2	12,623	12,343	3.1	1,426,892	1,358,436	6.9
郡(町)計	659	628	6.2	27,704	26,589	6.6	1,411,906	1,419,708	7.2

資料：総務省・経済産業省「2022年～2025年経済構造実態調査」

⑶　静岡県内上位５市の製造品出荷額等の推移（従業者４人以上の事業所）　単位：百万円（%）

年	静岡県	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位	第６位
H22	15,793,109 (54.0)	浜松市 2,014,577 (12.8)	磐田市 1,748,484 (11.1)	静岡市 1,697,201 (10.7)	湖西市 1,650,322 (10.4)	富士市 1,424,863 (9.0)	掛川市 1,180,123 (7.5)
H23	14,949,739 (54.0)	浜松市 1,970,088 (13.2)	磐田市 1,635,818 (10.9)	静岡市 1,561,142 (10.4)	湖西市 1,542,770 (10.3)	富士市 1,356,383 (9.1)	掛川市 1,051,993 (7.0)
H24	15,707,724 (54.1)	浜松市 2,085,286 (13.3)	磐田市 1,721,568 (11.0)	静岡市 1,711,073 (10.9)	湖西市 1,683,802 (10.7)	富士市 1,302,454 (8.3)	掛川市 1,069,353 (6.8)
H25	15,699,130 (54.5)	浜松市 2,130,271 (13.6)	静岡市 1,751,664 (11.2)	磐田市 1,721,102 (11.0)	湖西市 1,671,605 (10.6)	富士市 1,279,087 (8.1)	掛川市 1,046,428 (6.7)
H26	16,050,724 (54.0)	浜松市 2,005,774 (12.5)	磐田市 1,786,971 (11.1)	静岡市 1,758,416 (11.0)	湖西市 1,750,419 (10.9)	富士市 1,367,681 (8.5)	掛川市 1,067,364 (6.6)
H27	16,412,474 (51.0)	浜松市 1,823,450 (11.1)	静岡市 1,733,115 (10.6)	磐田市 1,731,683 (10.6)	湖西市 1,631,556 (9.9)	富士市 1,448,538 (8.8)	掛川市 1,058,298 (6.4)
H28	16,132,178 (50.3)	静岡市 1,830,915 (11.3)	浜松市 1,803,602 (11.2)	磐田市 1,567,485 (9.7)	湖西市 1,555,980 (9.6)	富士市 1,357,114 (8.4)	掛川市 1,020,037 (6.3)
H29	16,787,113 (49.7)	静岡市 1,979,079 (11.8)	浜松市 1,950,092 (11.6)	湖西市 1,525,807 (9.1)	磐田市 1,510,142 (9.0)	富士市 1,381,646 (8.2)	掛川市 1,095,842 (6.5)
H30	16,787,113 (49.7)	静岡市 1,979,079 (11.8)	浜松市 1,950,092 (11.6)	湖西市 1,525,807 (9.1)	磐田市 1,510,142 (9.0)	富士市 1,432,262 (8.2)	掛川市 1,095,842 (6.5)
R元	17,153,997 (50.6)	静岡市 2,120,264 (12.4)	浜松市 1,965,611 (11.5)	湖西市 1,671,392 (9.7)	磐田市 1,491,973 (8.7)	富士市 1,425,048 (8.3)	掛川市 1,158,774 (6.8)
R２	16,451,286 (50.4)	静岡市 2,057,410 (12.5)	浜松市 1,823,761 (11.1)	湖西市 1,649,184 (10.0)	磐田市 1,413,759 (8.6)	富士市 1,355,083 (8.2)	掛川市 1,187,732 (7.2)
R３	17,290,539 (50.7)	静岡市 2,237,585 (12.9)	浜松市 2,003,353 (11.6)	湖西市 1,570,841 (9.1)	磐田市 1,498,235 (8.7)	富士市 1,464,085 (8.5)	掛川市 1,330,887 (7.7)
R４	19,029,052 (50.7)	静岡市 2,503,174 (13.2)	浜松市 2,216,689 (11.6)	湖西市 1,789,965 (9.4)	磐田市 1,596,073 (8.7)	富士市 1,513,564 (8.0)	掛川市 1,409,003 (7.4)
R５	19,773,248 (50.3)	静岡市 2,496,692 (12.6)	浜松市 2,373,613 (12.0)	湖西市 1,771,227 (9.0)	磐田市 1,721,793 (8.7)	富士市 1,587,588 (8.0)	掛川市 1,426,892 (7.2)
R６	19,771,623 (50.8)	静岡市 2,473,931 (12.5)	浜松市 2,315,539 (11.7)	湖西市 1,875,893 (9.5)	磐田市 1,701,428 (8.6)	富士市 1,679,130 (8.5)	牧之原市 1,358,436 (6.9)

資料：総務省・経済産業省「2022 年～2025 年」経済構造実態調査」、令和３年経済センサス活動調査、富士市「2020 年工業統計調査結果」

※ 令和３年以降は、全事業所の数値

※「静岡県」欄のカッコ内は、上位５市の占める割合

Ⅱ　富士市の地場産業（パルプ・紙産業）の概要

1　富士市域の製紙のあけぼの

富士山南西麓から富士川上流にかけての地域では山村部の生業の一つとして紙すきが行なわれ、江戸時代中頃には江戸に広く流通するようになり、「駿河半紙」としてブランド化し隆盛した。駿河半紙は三椏（みつまた）を原料としたしなやかな紙質で人気を博し、現在の富士宮市域を中心に盛んに生産され多大な利益をあげていたが、富士市域においては主流産業にならなかった。

明治時代になると江戸時代の宿駅制度が廃止され、宿場に従事する馬子（まご）等の大量失業が懸念された。これに備えて吉原宿出身の内田平四郎は、明治２年（1869 年）に愛鷹山西麓の内山地区を開墾して三椏の栽培を手掛けた。これには、明治政府の殖産興業政策の中に製紙が含まれていたことが影響したと考えられる。

明治 12 年（1879 年）、伝法村の栢森貞助（かやもりていすけ）らは手すき和紙工場「鈎玄社（こうげんしゃ）」を設立し、製造過程で苛性ソーダなど化学薬品を使用した紙を製造した。それまでの和紙の製造が家内生産だったのに対して工場生産の考え方を導入した点や、化学薬品など洋紙技術を採り入れた点は、富士地区の工場経営の先駆けとなった。

明治 20 年（1887 年）、芦川万次郎は、今泉の湧水地帯（通称ガマ）に手すき和紙工場を設立した。生産技術の改良によって経営が軌道に乗り、これを契機に明治 20～30 年代にかけて今泉ガマを中心に相次いで手すき和紙工場が設立され、富士市の製紙産業の基盤となった。

2　日本の製紙業の興りと富士市域における発展

明治初期、政府の海外視察団が帰国すると産業の近代化が進み、明治５年（1872 年）に東京の日本橋に有恒社が、明治６年（1873 年）に東京の王子に抄紙会社（後の王子製紙）が設立され、日本における洋紙生産が開始された。当初は手探りでの操業が続いたが、洋紙生産技術が浸透して、明治 20 年代になると経営が安定し、さらなる発展を遂げるため全国各地へと工場が進出した。静岡県内においては明治 22 年（1889 年）に製紙会社（抄紙会社が改組）が周智郡気多村（現浜松市天竜区）でパルプ設備を稼動した。

富士地区は生産用水と工場の動力源としての豊富な水資源が注目され、明治 23 年（1890 年）に東京の富士製紙会社が潤井川流域の入山瀬に工場を建設し、富士市域で初めて洋紙の製造を行った。翌年には日本で初めて自社製の砕木パルプ（GP）の生産に成功し、安価で良質な更紙（ざらし）を抄造した。

そのようななか、富士製紙の技術者である三木慎一は辞職して、明治 27 年（1894 年）に原田村に小工場を建てて独自に洋紙の製造を始めた。三木の挑戦は、それまでのように大資本でなくても製紙工場設立が可能であることを在地の小資本家や技術者たちに示し、後の製紙工場林立の礎となった。

洋紙生産工場の富士地区進出は、在来の和紙生産工場にも大きな影響を与えた。それまで手すきだった和紙の生産は、洋紙生産に倣って機械化に取り組み、生産性の向上が図られた。特に明治 27 年（1894 年）、原田の滝川流域に設立された原田製紙株式会社は、ボロと古網にネリを加えた特異なナプキン原紙を抄造し、機械の開発導入を進めて大量生産を可能とした。吉原の佐野熊次郎が原田製紙のナプキン原紙を使用して加工業を始めると人気を集め、原田製紙と佐野が協力して加工ナプキンの生産体制を整え、海外へ輸出するまでに至った。明治 43 年（1910 年）には、イギリスで開催された日英ロンドン博覧会で銀賞を受賞し、その技術は世界に通用する程となった。

機械すき和紙生産の草分け的存在となった原田製紙からは多くの有能な技術者が輩出され、岳南地区の製紙業界に送り出された。大正時代になると手すき和紙工場は激減し、機械すきの製紙工場が続々と誕生したが、こうした技術者たちがその原動力となった。

大正３年（1914 年）の第一次世界大戦参戦によりヨーロッパなどからの紙・パルプの輸入が途絶えた結果、国内の製紙業界は好景気となり、富士地区では地元の中小資本の製紙会社が多数創業した。しかし、好況の反動により大正９年（1920 年）には経済が一気に冷え込み、工場を閉鎖したり倒産したりする会社が続出した。一方で、各社間の競争によって抄紙機の改良などの技術革新が図られ、不況下でも操業を続けられる会社も少なくなかった。

その後も関東大震災等で大正後期から昭和初期にかけて景気は悪化し社会が混乱したが、民衆は社会の混乱の安息を雑誌などに求め、１冊１円の安価な全集ものが好評を博した『円本（えんぽん）ブー

ム』とも相まって出版を通じて紙がよく売れるようになったため、昭和初期には製紙工場がいくつも設立されるなど、製紙業界は不況の影響を比較的受けなかった。

このころまでに創業した数多くの製紙会社が、今日の「紙のまち」としての富士市を形成する土台となったといえる。

3　戦後の製紙業

昭和 16 年（1941 年）に太平洋戦争が始まると、製紙は戦争には不要な産業と見なされて、比較的大きな工場は軍需工場に変えられた。また、中小の工場は休業させられたり、他の工場に統合されたりしたため、紙産業は停滞した。

終戦を迎えると各産業の復興が始まったが、戦時の軍需工場化や抄紙機の供出の影響により、工場の復元作業からの立て直しとなった。全国的には戦火による工場の被害から復元に困難を要する企業が多かったが、富士市域の工場の多くは被害を免れたため、製紙産業の復興は早かった。

戦後すぐに出版ブームが起こり紙の需要が高まったが、原料のパルプが不足していたため、出版業界は供給を間に合わせるために、出版用としては紙質の落ちる仙貨紙（せんかし）を大量に用いた。それまで片面仙貨紙のみであったが、昭和 23 年（1948 年）には両面仙貨紙が開発され人気を博した。その後しばらく景気の浮き沈みに各社は左右されながらも、昭和 30 年代を過ぎると全体的に安定した経営が保たれるようになった。富士地域は、生産量においても、また、板紙生産に新聞古紙を利用する再生紙生産に日本で最初に取り組むなど、製紙技術においても製紙産業の一大拠点となった。

その一方で、環境汚染が深刻化し、昭和 40 年代の田子の浦港のヘドロは大きな社会問題となった。行政機関の協力と業界の自主努力により昭和 50 年代には一応の解決をみたが、その後の製紙業界の環境に対する取組に大きな影響を与えた。

4　近況

昭和 48 年、54 年の２度にわたるオイルショック、昭和 54 年の木材チップの高騰等、供給面における制約や、国内経済の成長率の鈍化、樹脂等他素材による代替等、需要面における制約があったものの、紙需要は拡大基調で推移した。

しかし、いわゆるバブル経済の崩壊後の景気後退、人口減少や OA 化の進展による紙需要の減少、生産拠点の海外移転などによって、令和６年（2024 年）の富士市における紙・パルプの製造品出荷額は 5,844 億 300 万円とピーク時の平成３年（1991 年）（6,035 億 1,444 万円。旧富士川町を含まない。）から大幅に減少している。

日本の製紙業は、世界トップクラスの高度な古紙再生技術やばい煙、水質汚濁対応などの高い環境技術を持つ一方で、高い製造コストや生産設備の老朽化などの課題を抱えていると言われている。また、カーボンニュートラルの達成に向けては、パルプ及び紙の製造時における熱及び電気の利用が多く、大量のエネルギーを賄うために化石燃料等の火力自家発電設備を多く所有しており、二酸化炭素排出量削減のための燃料転換が課題となっている。

他方で、パルプ製造時に副産物として生成される廃液（黒液）については、資源循環の一端として自家発電設備において燃料として焼却することで多くのエネルギーを生み出し、その活用率は 100%となっている。また、製紙工程から排出されるペーパースラッジについては、産業廃棄物であるために、その排出及び処理について、大きな課題があったが、平成 30 年の処理状況においては、最終的な焼却灰の再利用率が 99.9%に到達した。

製紙業は、典型的な内需型産業であったが、デジタル化の波もあり国内市場の縮小を見越して新たに海外、特に東南アジアに生産拠点を設ける企業が増えている。富士市においても、大手のみならず中堅製紙メーカーの海外展開の動きが注目されている。

さらに近年では、製紙技術にも深く関連するセルロースナノファイバー（CNF）についての技術開発や製品化も進んでおり、サプライヤーである製紙会社とユーザーである異業種の製造業のマッチングも起きている。また、社会的に化石由来プラスチックの削減が叫ばれており、バイオマス素材製品への需要が高まっているため、製紙産業にとって新しいビジネスチャンスとなっている。

５　地場産業（パルプ・紙産業）の年次別推移（従業者４人以上の事業所）

	静岡県			富士市		
	事業所数	従業者数（人）	製造品出荷額等（万円）	事業所数	従業者数（人）	製造品出荷額等（万円）
H22	537	18,647	81,892,972	245	8,966	44,876,348
H23	536	18,518	82,297,974	224	8,705	44,072,640
H24	510	17,697	76,894,375	226	8,188	39,318,554
H25	506	17,449	73,230,568	227	8,250	37,632,117
H26	491	17,762	76,424,718	220	8,106	38,481,984
H27	496	18,215	81,774,356	217	8,467	43,129,341
H28	467	18,266	81,718,565	208	8,521	44,295,044
H29	469	18,612	83,331,713	209	8,497	45,227,433
H30	467	18,709	85,753,884	205	8,627	47,347,728
R元	463	18,930	87,094,684	203	8,676	47,869,620
R２	462	18,702	81,870,900	215	9,379	46,760,877
R３	479	18,324	86,080,300	212	8,954	49,470,591
R４	486	18,684	90,860,100	213	9,038	51,985,019
R５	483	18,145	95,128,200	213	8,919	54,784,513
R６	476	18,271	101,068,500	212	8,966	58,440,340

※令和３年以降の数値は 2022 年、2023 年、2024 年、2025 年経済構造実態調査結果を基に作成し、全事業所を対象とした数値

※各年版 工業統計調査結果（静岡県、富士市）、平成 24・28・令和３年 経済センサス活動調査結果を基に作成

６　富士市の地場産業（パルプ・紙産業）の位置

⑴　事業所数

47 社　52 工場　（令和８年１月現在）　※富士市の調査で把握できた数

⑵　令和７年品種別生産量及び構成比

分類	品種名	全国（トン）	富士市（トン）	全国比率（%）
製紙パルプ	クラフトパルプ	6,470,919	69,590	1.1
	さらし	5,430,876	0	0.0
	未ざらし	1,040,043	69,590	6.7
	サーモメカニカルパルプＴＭＰ	201,815	0	0.0
	リファイナーグラウンドパルプＲＧＰ	77,751	0	0.0
	砕木パルプＧＰ	27,688	0	0.0
	その他製紙パルプ	9,916	0	0.0
	合計	6,788,089	69,590	1.0

分類	品種名	全国（トン）	富士市（トン）	全国比率（%）
紙	新聞巻取紙	1,404,207	0	0.0
	印刷・情報用紙	5,042,888	117,570	2.3
	非塗工印刷用紙	1,147,458	103,332	9.0
	上級印刷紙	789,981	925	0.1
	中級印刷紙	159,364	0	0.0
	下級印刷紙	188,683	95,374	50.5
	薄葉印刷紙	9,430	7,033	74.6
	微塗工印刷用紙	648,849	0	0.0
	塗工印刷用紙	2,134,141	526	0.0
	アート紙	25,178	526	2.1
	コート紙	1,213,984	0	0.0
	軽量コート紙	731,026	0	0.0
	その他塗工印刷紙	163,953	0	0.0
	特殊印刷用紙	153,460	11,935	7.8
	色上質紙	46,841	0	0.0
	その他特殊印刷用紙	106,619	11,935	11.2
	情報用紙	958,980	1,777	0.2
	複写原紙	80,273	1,765	2.2
	フォーム用紙	171,621	0	0.0
	ＰＰＣ用紙	568,433	0	0.0
	情報記録紙	119,717	0	0.0
	その他情報用紙	18,936	12	0.1
	包装用紙	745,640	40,551	5.4
	未ざらし包装紙	514,665	35,819	7.0
	重袋用両更クラフト紙	302,195	22,353	7.4
	その他両更クラフト紙	195,393	11,753	6.0
	その他未ざらし包装紙	17,077	1,713	10.0
	さらし包装紙	230,975	4,732	2.0
	純白ロール紙	60,932	0	0.0
	さらしクラフト紙	155,224	1,443	0.9
	その他さらし包装紙	14,819	3,289	22.2

分類	品種名	全国（トン）	富士市（トン）	全国比率（%）
紙	衛生用紙	1,849,020	602,235	32.6
	ティシュペーパー	390,718	57,301	14.7
	トイレットペーパー	1,105,661	432,893	39.2
	タオル用紙	277,476	54,955	19.8
	その他衛生用紙	75,165	57,086	75.9
	雑種紙	655,501	85,750	13.1
	工業用雑種紙	619,580	81,945	13.2
	加工原紙	515,101	66,365	12.9
	電気絶縁紙	15,020	0	0.0
	その他工業用雑種紙	89,459	15,580	17.4
	家庭用雑種紙	35,921	3,805	10.6
	合計	9,597,256	846,106	8.7
板紙	段ボール原紙	9,373,034	860,570	9.2
	ライナー	5,755,957	410,959	7.1
	外装用（クラフト）	4,064,008	264,560	6.5
	外装用（ジュート）	1,591,063	146,399	9.2
	内装用	100,886	0	0.0
	中芯原紙	3,617,077	449,611	12.4
	紙器用板紙	1,462,190	442,959	30.3
	白板紙	1,350,708	441,595	32.7
	マニラボール	550,541	184,883	33.6
	白ボール	800,167	256,712	32.1
	黄・チップ・色板紙	111,482	1,364	1.2
	雑板紙	567,507	43,006	7.6
	建材原紙	163,484	0	0.0
	紙管原紙	277,686	0	0.0
	その他板紙	126,337	43,006	34.0
	合計	11,402,731	1,346,535	11.8

品種名	全国（トン）	富士市（トン）	全国比率（%）
紙・板紙合計	21,099,987	2,192,641	10.4

資料：経済産業省「2025年経済産業省生産動態統計年報」、富士市「紙・パルプ生産量調査」

Ⅲ　富士市の立地企業及び工業団地の概要

1　主要進出企業の状況

名称	業種	所在地	操業開始	旧名称
旭化成㈱ 富士支社	化学	鮫島	Ｓ34	
日本食品化工㈱ 富士工場	食料品	田島	Ｓ39	
興和㈱ 富士工場	化学	大野新田	Ｓ39	
㈱ダイセル　富士工場	化学	宮島	Ｒ８	ポリプラスチックス㈱ 富士工場
ＵＣＣ上島珈琲㈱ 富士工場	飲料	増川	Ｓ50	
靜甲㈱ 富士川工場	機械	北松野	Ｓ63	
ビヨンズ㈱ 本社工場	輸送用機械	大淵	Ｈ３	㈱後藤製作所
㈱小糸製作所 富士川工機工場	機械	中之郷	Ｈ４	
㈱パイオラックス 富士工場	輸送用機械	南松野	H10	
ユニプレス㈱ 富士事業所	輸送用機械器具	青葉町	H10	山川工業㈱と大和工業㈱が合併
ジヤトコ㈱ 本社工場	輸送用機械	今泉	H14	ジヤトコ・トランステクノロジー㈱、ジヤトコ㈱、日本自動車変速機㈱、日産自動車㈱
㈱ＡＤＥＫＡ 富士工場	化学	富士岡	H18	旭電化工業㈱
ＪＦＥ商事コイルセンター㈱ 静岡工場	鉄鋼	大淵	H18	静岡スチール㈱
白石工業㈱ 富士川工場	食料品	中之郷	H19	
パーパス㈱ 本社工場	金属製品	西柏原新田	H23	髙木産業㈱
興国インテック㈱ 富士工場	ゴム	大淵	H24	
トーヨーカラー㈱ 富士製造所	化学	天間	H24	東洋インキ製造㈱、トーヨーケム㈱
日本製紙㈱ 富士工場	パルプ・紙・紙加工品	比奈・蓼原	H25	大昭和製紙㈱ 他と合併
ポラテック富士㈱ 富士工場	木材	大淵	H25	
ケンコーマヨネーズ㈱ 静岡富士山工場	食料品	大淵	H26	
㈱加藤美蜂園本舗 富士工場	食料品	大淵	H28	
クミアイ化学工業㈱ 静岡工場	化学	中之郷	H29	イハラケミカル工業㈱
日医工㈱ 静岡工場	化学	中河原	H29	日医工ファーマテック㈱、アステラスファーマテック㈱
三菱商事ライフサイエンス㈱ 富士工場	化学	中河原	H31	東和化成工業㈱、三菱商事フードテック㈱
ＭＵマテックス㈱ 富士工場	窯業・土石	五貫島	Ｒ５	ウベボード㈱、宇部興産建材㈱
日本キヤリア㈱ 富士事業所	電気機械器具	蓼原	Ｒ６	㈱東芝、東芝キヤリア㈱

※既存事業所の新・増設は除く。

※事業所の名称変更等をした場合は、変更年で操業開始を記載

２　主要事業所の立地状況（従業者 300 人以上）

「規模（従業員数）」欄の①は 1,000 人以上、②は 500 人以上 1,000 人未満、③は 500 人未満である。

令和７年 12 月末時点

業種	事業所名	規模 （従業員数）	所在地	主要製品名
化 学 工 業	旭化成㈱ 富士支社	①	鮫島 2-1	中空糸状ろ過膜、電子材料、 感光性樹脂
電気機械器具 製 造 業	日本キヤリア㈱ 富士事業所	①	蓼原 336	店舗・オフィス・ビル用空調機 器、コンプレッサ、コールド チェーン機器・換気扇
輸送用機械 器具製造業	ジヤトコ㈱ 本社工場	①	今泉 700-1	自動車用変速機、 自動車用変速機部品、 自動車用部品
化 学 工 業	ポリプラスチックス㈱ 富士工場	②	宮島 973	ポリアセタール樹脂、ポリブチ レンテレフタレート樹脂、液晶 樹脂
化 学 工 業	トーヨーカラー㈱ 富士製造所	②	天間 400	顔料、 オフセットインキ
輸送用機械 器具製造業	ユニプレス㈱ 富士事業所	③	青葉町 19-1	自動車用トランスミッション部 品、精密金型治工具製品
食料品製造業	㈱デイリーはやしや 富士山工場	③	大淵 3800-3	弁当、おにぎり、寿司
食料品製造業	㈱プライムベーカリー 本社工場	③	南松野 2108-1	調理パン、惣菜軽食、 デザート
パルプ・紙・ 紙加工品 製 造 業	日本製紙㈱ 富士工場	③	比奈 798	段ボール原紙、白板紙
化 学 工 業	興和㈱ 富士工場	③	大野新田 332-1	キャベジンコーワα、 アデホスコーワ顆粒、 バンテリンコーワ
輸送用機械 器具製造業	ビヨンズ㈱ 本社工場	③	大淵 2429-3	自動車部品、 金型治工具、 金属コーティング各種

３　工業団地の概要（令和８年３月末時点）

⑴　富士市浮島工業団地

組 合 設 立　　昭和 47 年９月 19 日

組合所在地　　〒417-0826　静岡県富士市中里 2626 番地の 22

TEL.0545-32-2131 / FAX.0545-32-2199

事 業 年 度　　昭和 47 年度～昭和 53 年度

規　　模　　全体面積 211,899 ㎡　工場用面積 155,769 ㎡

業 種 構 成　　金属製品４、紙加工３、プラスチック２、化学工業４、電気機械器具２、その他９　　計 24 社

ホームページ　　http://www.wbs.ne.jp/bt/ukishima/

立地企業一覧

会社名	電話	資本金（千円）	従業者（人）	所在地	敷地面積（㎡）	生産品目	操業年
富士フルモールド	33-0069	ー	2	中里 2626-26	745	機械設計	Ｓ51
新興紙工㈱	33-0881	12,000	8	中里 2626-21	10,972	包装紙、紙製荷造用緩衝剤	Ｓ51
浜松熱処理工業㈱	32-0215	150,000	27	中里 2608-41	3,306	金属部品熱処理	Ｓ51
静光電機工業㈱	32-0688	68,000	34	中里 2626-23	4,960	配電盤の組立	Ｓ51
富士資材加工㈱	32-1617	12,250	12	中里 2608-53	4,961	電線用木製巻枠、金属製品解体加工	H12
㈱スギヤマ	32-2182	100,000	127	中里 2608-50	20,765	金属部品切削加工、銑鉄鋳造	Ｓ52
川口印刷工業㈱	32-2181	10,000	4	中里 2626-18	827	オフセット印刷	Ｓ52
ユニプレス精密㈱	32-2125	353,000	149	中里 2608-25	21,502	自動車用トランスミッション部品製造	H10
梅沢鋳工㈱	32-2177	10,000	36	中里 2608-48	3,026	鋳鉄鋳物製造、発泡模型製造	Ｓ52
㈱ＮＬＭエカル	054-388-3555	80,000	9	中里 2626-24	7,268	通信機器等収納用函製造販売	H12
丸一化成㈱	32-0147	20,000	146	中里 2626-31	9,294	製紙用助剤、健康食品	Ｓ52
三協化学㈱	32-0128	10,000	5	中里 2608-52	1,358	漁網用防藻剤	Ｓ52
光洋産業㈱	32-0555	100,000	9	中里 2626-17	5,648	接着剤製造	Ｓ53

会社名	電話	資本金（千円）	従業者（人）	所在地	敷地面積（㎡）	生産品目	操業年
㈱ベイシン	32-1248	10,000	100	中里 2608-34	19,132	自動車・家電樹脂部品製造	Ｓ53
キソー㈱	33-0022	30,000	32	中里 2608-27	6,595	環境洗浄機器、高圧ポンプの製造販売	Ｓ53
杉澤プラスチック工業㈱	32-2021	10,000	15	中里 2626-20	1,769	合成樹脂射出成型	Ｓ53
㈱篠原産業	32-2160	10,000	40	中里 2608-43	12,641	製鋼原料販売	Ｓ54
ユニプレスモールド㈱	32-2098	457,500	36	中里 2608-73	10,975	自動車樹脂部品製造	H17
㈱セイコークリエイト	33-0831	44,800	21	中里 2608-39	1,696	産業ロボット設計・施工、ソフトウェアシステムの開発	Ｈ３
㈱微助人	32-2956	10,000	3	中里 2626-25	745	看板製作	Ｈ５
㈱ＴＯＫＡＩ容器検査部	32-2133	14,004,000	30	中里 2608-58	6,600	ＬＰガス容器検査	H19
㈱富士鋳物商事	32-2182	15,000	2	中里 2608-50	㈱スギヤマ敷地内	銑鉄鋳造用資材の購入・製造	H18
富士大洋㈱	30-6455	10,000	16	中里 2608-51	3,308	原紙平版及び小巻加工	H30
㈲セイエイ	30-6662	10,000	16	中里 2608-54	2,151	医薬部外品・化粧品の受託製造	Ｒ７

⑵ 駿河金属工業団地

組 合 設 立　　昭和 55 年４月１日

組合所在地　　〒416-0946　静岡県富士市五貫島 847 番地の４

TEL.0545-64-1166 / FAX.0545-64-1166

事 業 年 度　　昭和 48 年度～昭和 49 年度

規　　模　　全体面積 21,643 ㎡　工場用面積 20,458 ㎡

業 種 構 成　　一般機械器具製造業７、金属製品製造業５、その他１　　計 13 社

立地企業一覧

会社名	電話	資本金（千円）	従業者（人）	本社所在地	敷地面積（㎡）	生産品目	操業年
㈱大成鉄工所	61-2318	25,000	10	五貫島 790-2	1,913	紙加工機製造	Ｓ55
一富正㈱	63-5395	10,000	14	五貫島 770-24	492	機械部品加工、機械製作	Ｓ55
㈱三杉製作所	63-4454	5,000	22	五貫島 770-21	1,440	金型、治具製造修理	Ｓ55
㈲みくに工業	63-4457	9,805	7	五貫島 770-9	927	プレス加工 精密板金加工	Ｓ55
㈱豊島精工	63-0154	10,000	5	五貫島 770-23	379	機械部品切削加工	Ｓ55
東海シーレックス㈱	61-5659	10,000	11	五貫島 770-8	2,452	産業機械製作	Ｓ55
㈱大村鉄工所	63-3261	10,000	7	五貫島 770-11	1,282	機械製缶	Ｓ55
㈲森島工業	61-2951	10,000	6	五貫島 770-1	968	鉄骨、鋼構造物	Ｓ55
㈱仁藤組	61-1143	20,000	12	本市場町 1027	970	鉄骨、総合建設業	Ｓ55
㈱鈴昇	61-8497	15,000	62	五貫島 777	2,023	鋼板溶断、 シャーリング	Ｓ55
㈱笠井鉄工所	61-0061	10,000	1	五貫島 770-5	3,178	貸工場	
エスケイ エンジニアリング㈱	03-3843 -2449	15,000	3	東京都台東区 元浅草 1-8-7	4,746	貸工場	
富士朝日工業㈱	61-0155	10,000	1	中島 170	873	貸工場	

⑶ 富士グリーン工業団地

組 合 設 立　昭和 62 年４月１日

組合所在地　〒417-0801　静岡県富士市大淵 4527 番地の 21

TEL.0545-36-2200 / FAX.0545-36-2611

事 業 年 度　昭和 63 年度

規　　模　全体面積 92,606 ㎡　工場用面積 53,137 ㎡

業 種 構 成　金属製品製造業３、一般機械製造業２、食料品製造業２、電気機械製造業２、木材木製品製造業１、その他４

計 14 社

ホームページ　http://www.fujigreen.org/index.html

立地企業一覧

会社名	電話	資本金(千円)	従業者(人)	本社所在地	敷地面積(㎡)	生産品目	操業年
㈱ニットー	36-0151	12,000	4	大淵 4527-4	7,030	非鉄金属品	Ｈ２
㈱エイペックス	36-2111	20,000	17	大淵 4527-6	4,244	電気機械器具	Ｈ２
㈲清水屋食品	36-2555	3,000	10	大淵 4527-15	1,855	食料品	Ｈ２
㈱三協製作所	36-0177	10,000	9	大淵 4527-14	2,178	金属製品	Ｈ２
ビヨンズ㈱	36-0112	10,000	8	大淵 2429-3	2,910	金属製品	Ｈ２
㈱ガルス	36-2210	10,000	8	大淵 4527-9	1,011	リネンサプライ業	Ｈ２
㈲大石塗装	36-2510	10,000	5	大淵 4527-18	1,711	金属製品塗装業	Ｈ２
富士木材㈱	36-2266	50,000	23	大淵 3800-8	8,356	木材木製品	Ｈ２
㈱かつまた	36-2418	10,000	40	大淵 3478-1	8,233	食料品	Ｈ２
三生医薬㈱	37-1030	123,389	109	厚原 1468	8,595	健康食品	Ｈ２
東工電機㈱	35-2727	10,000	4	大淵 4527-17	2,382	電気機械器具	Ｈ２
タイヨーパッキング㈱	35-2975	10,500	8	荒川区東日暮里 1-26-5	1,782	電子部品	Ｈ８
中央金網溶接㈱	35-4134	10.000	17	大淵 4527-16	1,656	製紙用金網加工 製紙用ドクターブレード	Ｒ３
㈱トシワ機設エージェント	35-7357	5,000	9	大淵 4527-19	995	機械器具設置	Ｒ３

⑷ 富士山フロント工業団地

ア　富士山フロント工業団地　第１期

完　　成　　平成 21 年９月

所 在 地　　静岡県富士市大淵字城山、元篤地内

規　　模　　全体面積 425,787 ㎡　工場用面積 360,579 ㎡

業種構成　　道路貨物運送業１、倉庫業１、食料品製造業５、木材・木製品製造業１、パルプ・紙・紙加工品製造業１、印刷・同関連業１、プラスチック製品製造業２、金属製品製造業３、業務用機械器具製造業１　計 16 社

立地企業一覧

会社名	電話	資本金（千円）	従業者（人）	本社所在地	敷地面積（㎡）	生産品目	操業年
㈲増田製作所	37-1700	10,000	60	大淵 3800-1	12,259	金属製品	H22
エフ・シー・アイ㈱	35-3568	50,000	92	大淵 3800-12	19,572	プラスチック製品	H23
㈱セキノ興産	37-0715	92,000	28	富山市水橋開発 277-12	16,886	金属製品	H23
ひかり㈱	37-1913	10,000	46	大淵 3800-9	10,511	食料品	H24
町田食品㈱	35-7780	25,000	44	久沢 269-1	13,239	食料品	H24
富士木材㈱	36-1188	50,000	43	大淵 3800-8	10,575	紙加工品	H25
ポラテック富士㈱	37-1192	30,000	82	大淵 3800-7	71,058	木材・木製品	H25
鈴与㈱	35-5811	1,000,000	103	静岡市清水区入船町 11-１	35,863	倉庫業	H25
ロジスティード中部㈱	37-2277	310,000	210	名古屋市中区錦 2-14-21	32,793	一般貨物自動車運送業	H25
㈱デイリーはやしや	37-2400	83,000	401	松本市和田南西原 4010-28	21,089	食料品	H25
ケンコーマヨネーズ㈱	37-1500	5,424,030	160	東京都杉並区高井戸東 3-8-13	37,309	食料品	H26
㈱Ｐ’Ｓネットワーク	35-7300	10,000	44	大淵 3800-10	12,045	オフセット印刷	H26
㈲村松鉄工所	36-0400	10,000	27	大淵 3800-51	10,005	金属製品	H26
東タイ㈱	37-2626	10,000	349	大淵 3800-52	8,580	プラスチック製品	H27
㈱伊藤製作所	36-0330	10,000	240	大淵 3800-16	21,100	臨床検査装置用部品	H27
㈱加藤美蜂園本舗	37-1182	49,500	27	東京都台東区千束 1-1-5	27,689	食料品	H28

イ　富士山フロント工業団地　第２期

完　　成　　令和４年７月

所 在 地　　静岡県富士市大淵字元篤地内

規　　模　　全体面積 57,189 ㎡　工場用面積 46,314 ㎡

業種構成　　食料品製造業１、パルプ・紙・紙加工品製造業２、業務用機械器具製造業１、金属製品製造業２　計６社

立地企業一覧

会社名	電話	資本金（千円）	従業者（人）	本社所在地	敷地面積（㎡）	生産品目	操業年
㈱フジックス・トーカイ	67-2296	10,000	22	大淵 3776-16	4,068	紙加工品	R7
㈱コーチョー	71-2610	48,000	10	厚原 295	11,256	紙加工品	R7
㈱伊藤製作所	36-0330	10,000	27	大淵 3800-16	9,600	臨床検査装置用部品	R8
ヤザキ工業㈱	67-5579	30,000	54	大淵 3776-20	7,282	生産用機械器具	R8
ミントハウス㈱	67-0318	30,000	11	埼玉県八潮市浮塚 789	4,650	食料品	R8
埼玉プレス鍛造㈱	67-2307	10,000	10	埼玉県川口市江戸 3-22-11	9,454	自動車部品	R8

Ⅳ　富士市の港湾の概要

１　田子の浦港の沿革

古くは「吉原湊」と呼ばれた田子の浦港は駿河湾の最奥部にあり、富士・愛鷹山麓の南を流れる沼川と潤井川の合流点に建設された「堀込式人工港湾」で、昭和 33 年から 10 余年の歳月と総工費 130 億円をかけて完成した。

岳南地域は、江戸時代には「駿河半紙」の特産地として名高く、近代になると製紙・パルプ工業などの軽工業が発達した。戦後は、食品加工・化学繊維・自動車・電気機械などの大企業が進出し、加えて関連中小企業の設立や設備投資が相次ぎ、新しい工業地域として脚光を浴びるようになった。

昭和 30 年代に入り、静岡県は産業基盤整備を重点とした総合開発計画を策定し、この岳南地域に駿河湾臨海工業地帯の拠点となる「工業港」の建設を決定し、昭和 33 年４月から第一期築港工事に着手した。

工事は、海底勾配が急峻でしかも太平洋の荒波を直接受ける漂砂海岸という厳しい自然条件の中で進められ、昭和 36 年８月に開港、同年 12 月には管理事務所の設置、翌 37 年２月待望の第一船入港と、港湾管理体制は着々と整えられ、昭和 41 年４月には関税法による開港の指定と、名実ともに国際貿易港として順調に発展してきた。

このような中、平成 13 年に、平成 20 年代前半を目標年次とする港湾計画が策定（改訂）された。この計画に基づき、物流・生産機能の拡充とともに多様化する港湾への要請にも適切に対応していくため、「産業活動を支える物流機能の高度化」と市民生活向上への寄与を目標に掲げ、船舶の大型化等に対応した施設整備が展開され、平成 22 年度には中央２号耐震岸壁が完成し、平成 29 年度には中央航路・泊地の水深 12ｍ化が完成した。

なお、令和７年における入港船舶は 1,318 隻、取扱貨物は 245 万トンを数え、県内港湾全体貨物量の約 10%、県内第２位の位置を占めている。

一方、工業都市として栄えてきた富士市は、かつて、港内に工場排水による汚泥堆積を引き起こした。このため、昭和 46 年４月からの４次にわたる浚渫作業により港湾施設の機能回復が進められ、昭和 55 年度に堆積汚泥は一掃され、港の環境は大幅に改善された。

しかし、平成 14 年に河川から流入する土砂と岳南排水路から流入するＳＳ（浮遊物質）などにより、堆積物にダイオキシン類が含有していることが確認されたため、港湾管理者である県が継続的な浚渫除去を実施した結果、令和５年３月に汚染底質の除去完了を確認した。

また、この浚渫工事により生じた土砂等を盛土材として利用し整備が進められていた「ふじのくに田子の浦みなと公園」は、平成 25 年６月に一部が供用開始され、平成 30 年２月 23 日に完成した。

鈴川海岸においては、高潮・津波対策として既存の堤防を補強し、併せて緑地を整備する「鈴川海岸整備事業」が地元住民の理解と協力のもと推進され、平成 26 年度に海岸堤防が完成し、平成 31 年４月には「鈴川海浜スポーツ公園」の利用が開始された。

2　田子の浦港湾の区域

関係法令	区分	区　　域	面積（㎡）
港　湾　法	港湾区域	中丸三角点（4.9メートル）から67度2,830メートルの点（Ｅ＝138°41’44”、Ｎ＝35°08’32”）を中心として1,335メートルの半径を有する円内の海面並びに沼川河合橋、和田川吉原橋、潤井川潤井川橋(田子の浦港高架橋)及び江川水門各下流の河川水面、並びに富士市依田橋字三ツ又、字市川、富士市鈴川字堤外白倉及び富士市前田字舞台地先水面	1,365,353
都市計画法	臨港地区	令和５年３月31日静岡県告示第268号による（計画図のとおり）	1,229,000
港　則　法	港　　域	沼川東海道本線鉄道橋南西端を中心とする半径1,600メートルの円内の海面並びに沼川新橋、和田川新和田川橋、潤井川田子の浦橋及び江川水門各下流の河川水面	1,096,300

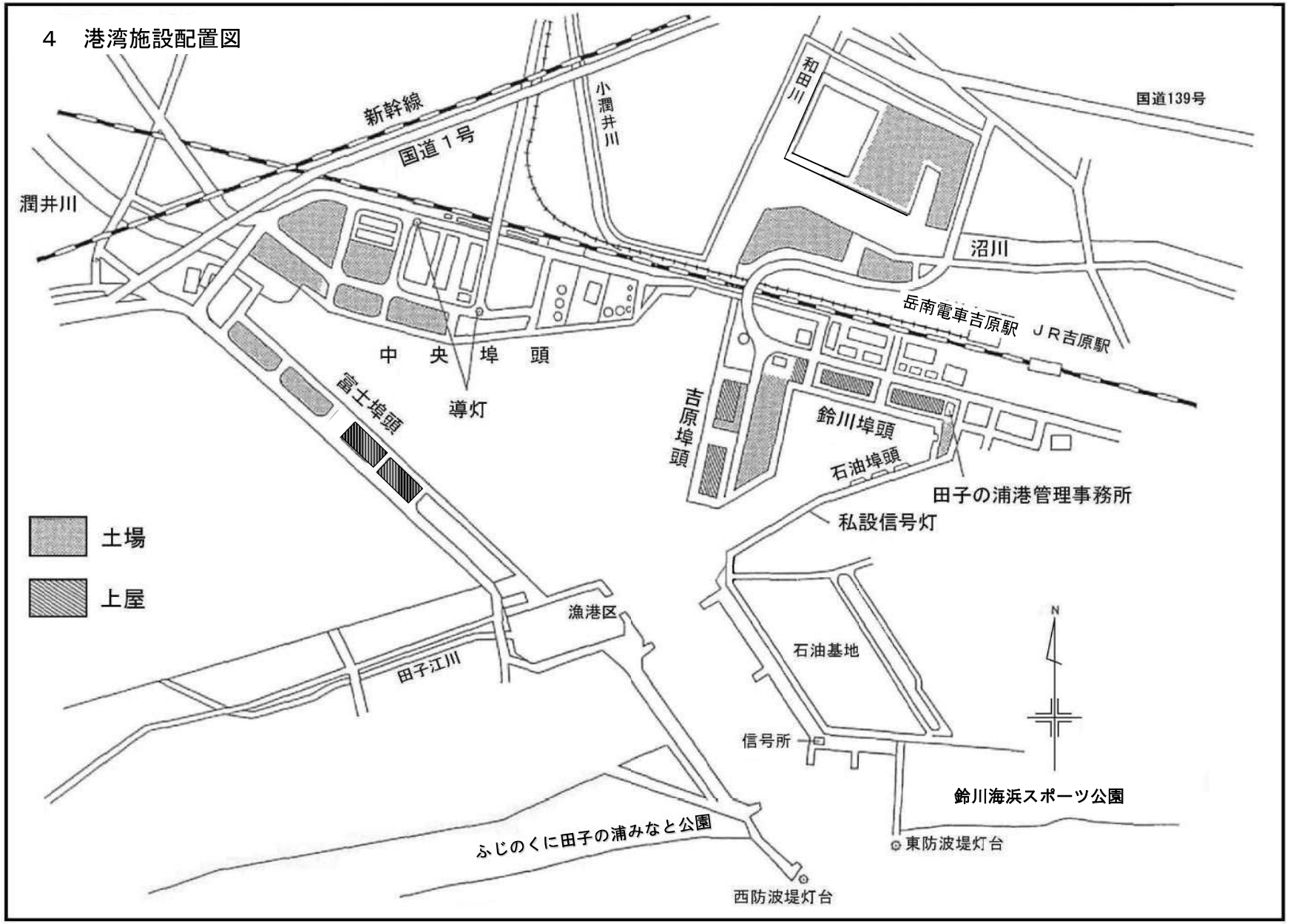
3　航路標識及び公共、専用岸壁

名　称	管理者	位　置	灯色 燭光数	灯質周期 明暗	光達距離	灯の高さ
田子の浦港 東防波堤灯台	海上保安庁	Ｅ 138－42－00 Ｎ 35－08－07	赤色 110カンデラ	明３秒 暗３秒	5.5カイリ	平均水面上 16.40m
田子の浦港 西防波堤灯台	海上保安庁	Ｅ 138－41－53 Ｎ 35－08－04	緑色 110	明３秒 暗３秒	5.5カイリ	平均水面上 16.40m
田子の浦港 導灯（前灯）	海上保安庁	Ｅ 138－41－25 Ｎ 35－08－39	緑色 1,400	不動光	10.0カイリ	平均水面上 41.82m
田子の浦港 導灯（後灯）	海上保安庁	Ｅ 138－41－19 Ｎ 35－08－45	緑色 1,400	不動光	10.0カイリ	平均水面上 48.94m
石油埠頭 私設信号灯	静岡県	Ｅ 138－41－59 Ｎ 35－08－15	赤色	－	－	平均水面上 12.50m

埠　頭	名　　称	けい船能力		延長（m）	計画水深（m）	備　考
		船級 Ｄ／Ｗ	船席			
中央埠頭	中央１号岸壁	30,000	1	240	-12.0	
	中央２号岸壁	30,000	1	240	-12.0	
	中央３～４号岸壁	5,000	2	250	-7.5	
吉原埠頭	吉原１号岸壁	10,000	1	167	-9.0	
	吉原２号岸壁	5,000	1	125	-7.5	
富士埠頭	富士１号岸壁	12,000	1	240	-10.0	
	富士２号岸壁	5,000	1	135	-7.5	
	富士４号岸壁	3,000	1	115	-6.5	
	富士５号岸壁	5,000	1	120	-7.5	
	富士６号岸壁	5,000	1	130	-7.5	
鈴川埠頭	鈴川１～２号岸壁	2,000	2	175	-5.5	
	鈴川３～５号岸壁	2,000	3	310	-5.5	
石油埠頭	石油１～２号岸壁	5,000	1	145m、１基	-7.5	
	石油３号ドルフィン	2,000	1	１基	-5.5	
	石油４号ドルフィン	2,000	1	１基	-5.5	
	石油５号ドルフィン	2,000	1	１基	-5.5	
計			20	2,392 ４基		

資料：田子の浦港要覧 2026

4　港湾施設配置図


新幹線
国道１号
小潤井川
和田川
国道139号
潤井川
沼川
岳南電車吉原駅
ＪＲ吉原駅
中　央　埠　頭
導灯
富士埠頭
吉原埠頭
鈴川埠頭
石油埠頭
田子の浦港管理事務所
私設信号灯
土場
上屋
漁港区
田子江川
石油基地
N
信号所
鈴川海浜スポーツ公園
ふじのくに田子の浦みなと公園
東防波堤灯台
西防波堤灯台

５　令和７年田子の浦港貿易概況

⑴　貿易額

単位：百万円

	田子の浦港				全国港総額		
	令和６年 貿易額	令和７年 貿易額	前年比 （%）	全国 順位	令和６年 貿易額	令和７年 貿易額	前年比 （%）
輸　　出	11,632	10,012	86.1	98/133	107,087,511	110,400,455	103.1
輸　　入	34,443	28,506	82.8	91/138	112,715,961	113,330,099	100.5
輸出入合計	46,075	38,517	83.6	102/141	219,803,472	223,730,554	101.8

※順位は「令和７年分全国港別貿易額順位表」による

⑵　輸出　　－100 億 1,166 万円－

品目別に見ると、写真用・映画用材料が 48 億 5,894 万円（構成比 48.5%）で最も多く、以下、鉄鋼くず 18 億 6,345 万円（同 18.6%）、精油・香料及び化粧品類 11 億 8,651 万円（同 11.9%）などとなっている。

地域別に見ると、大韓民国が 21 億 6,982 万円（同 21.7%）で最も多く、以下、ベルギー21 億 2,276 万円（構成比 21.2%）、台湾 15 億 5,291 万円（同 15.5%）などとなっている。

⑶　輸入　　－285 億 573 万円－

品目別にみると、とうもろこしが 137 億 3,322 万円（構成比 48.2%）で最も多く、以下、有機化合物 50 億 2,192 万円（同 17.6%）、石炭 31 億 5,659 万円（同 11.1%）などとなっている。

地域別に見ると、アメリカ合衆国が 130 億 314 万円（構成比 45.6%）で最も多く、以下、オーストラリア 31 億 5,659 万円（同 11.1%）、タイ 26 億 3,996 万円（同 9.3%）などとなっている。

名古屋税関管内（貿易額）

単位：百万円

	清水税関支署内（静岡県）			名古屋税関管内		
	令和６年 貿易額	令和７年 貿易額	前年比 （%）	令和６年 貿易額	令和７年 貿易額	前年比 （%）
輸　　出	2,617,163	2,615,586	99.9	25,143,373	25,500,425	101.4
輸　　入	1,417,493	1,460,611	103.0	14,032,175	14,208,288	101.3
輸出入合計	4,034,656	4,076,197	101.0	39,175,548	39,708,713	101.4

資料：名古屋税関資料（一部速報値を含む）

６　田子の浦港海上出入貨物の推移

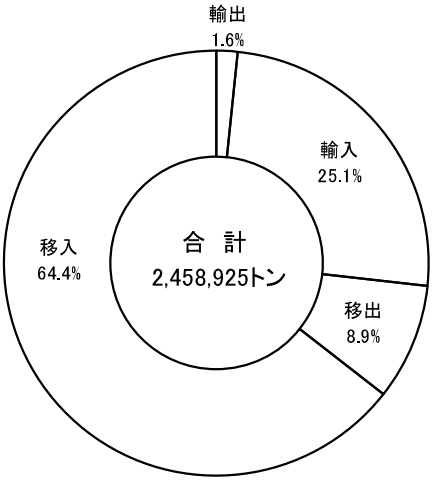
単位:トン

	合計		外貿貨物		内貿貨物		Ｒ６年対比
	（外内貿計）	輸移出 輸移入	計	輸出 輸入	計	移出 移入	（%）
H21	4,733,420	496,860 4,236,560	1,123,968	103,186 1,020,782	3,609,452	393,674 3,215,778	169.5
H22	4,729,963	487,470 4,242,493	1,006,383	89,776 916,607	3,723,580	397,694 3,325,886	169.4
H23	5,081,905	459,176 4,622,729	1,488,477	98,484 1,389,993	3,593,428	360,692 3,232,736	182.0
H24	4,509,863	436,294 4,073,569	1,259,456	108,965 1,150,491	3,250,407	327,329 2,923,078	161.5
H25	3,644,775	418,061 3,226,714	801,449	95,139 706,310	2,843,326	322,922 2,520,404	130.5
H26	3,483,721	382,346 3,101,375	780,419	94,193 686,226	2,703,302	288,153 2,415,149	124.8
H27	3,488,882	360,194 3,128,688	911,477	86,536 824,941	2,577,405	273,658 2,303,747	125.0
H28	3,581,056	361,147 3,219,909	1,078,161	56,854 1,021,307	2,502,895	304,293 2,198,602	128.3
H29	3,601,795	367,453 3,234,342	1,093,235	56,924 1,036,311	2,508,560	310,529 2,198,031	129.0
H30	3,660,525	341,705 3,318,820	1,099,011	52,258 1,046,753	2,561,514	289,447 2,272,067	131.1
Ｒ１	3,296,588	320,716 2,975,872	909,594	56,955 852,639	2,386,994	263,761 2,123,233	118.1
Ｒ２	3,017,325	313,453 2,703,872	953,128	51,392 901,736	2,064,197	262,061 1,802,136	108.1
Ｒ３	3,010,880	305,119 2,705,761	951,438	21,882 929,556	2,059,442	283,237 1,776,205	107.8
Ｒ４	2,810,317	269,019 2,541,298	749,104	12,980 736,124	2,061,213	256,039 1,805,174	100.7
Ｒ５	2,834,055	270,690 2,563,365	865,166	38,467 826,699	1,968,889	232,223 1,736,666	101.5
Ｒ６	2,792,132	277,460 2,514,672	903,134	42,758 860,376	1,888,998	234,702 1,654,296	100.0
Ｒ７	2,458,925	258,193 2,200,732	656,104	39,820 616,284	1,802,821	218,373 1,584,448	88.1

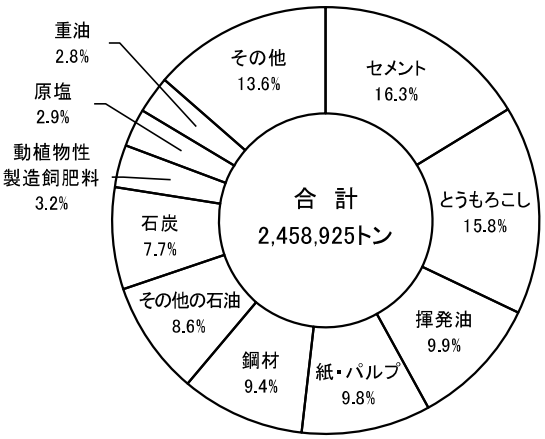
資料：令和７年 田子の浦港管理事務所「港湾統計年報」

7　令和７年田子の浦港海上出入貨物の構成

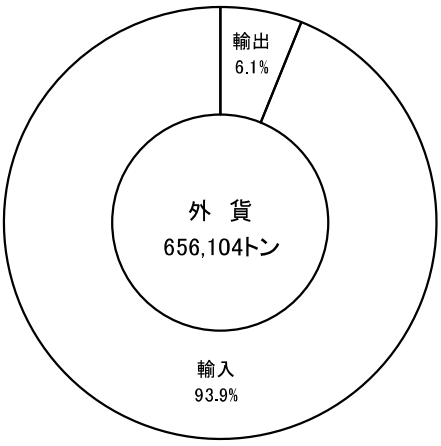
輸移出入の割合（合計）



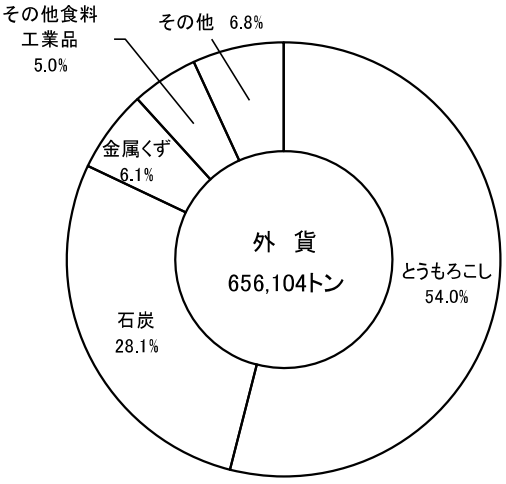
品種別構成（合計）



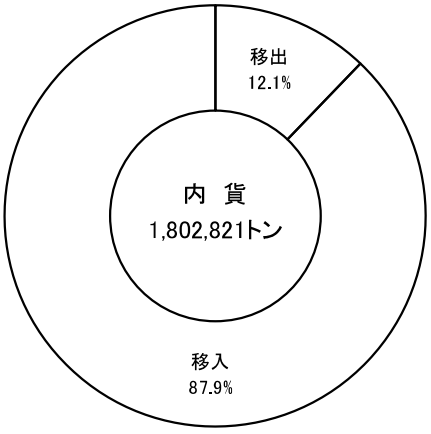
輸出入の割合



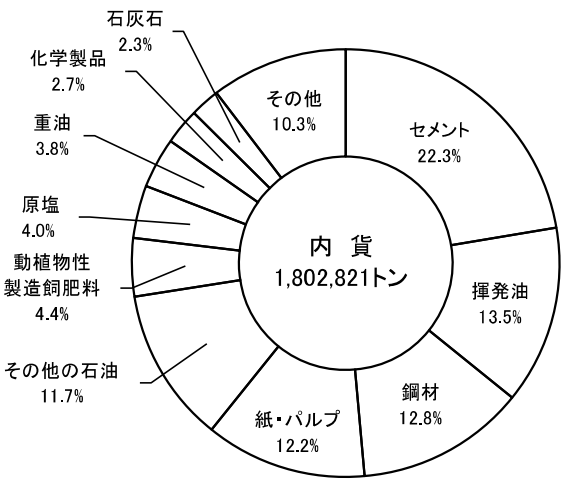
輸出入貨物の品種別構成



移出入の割合



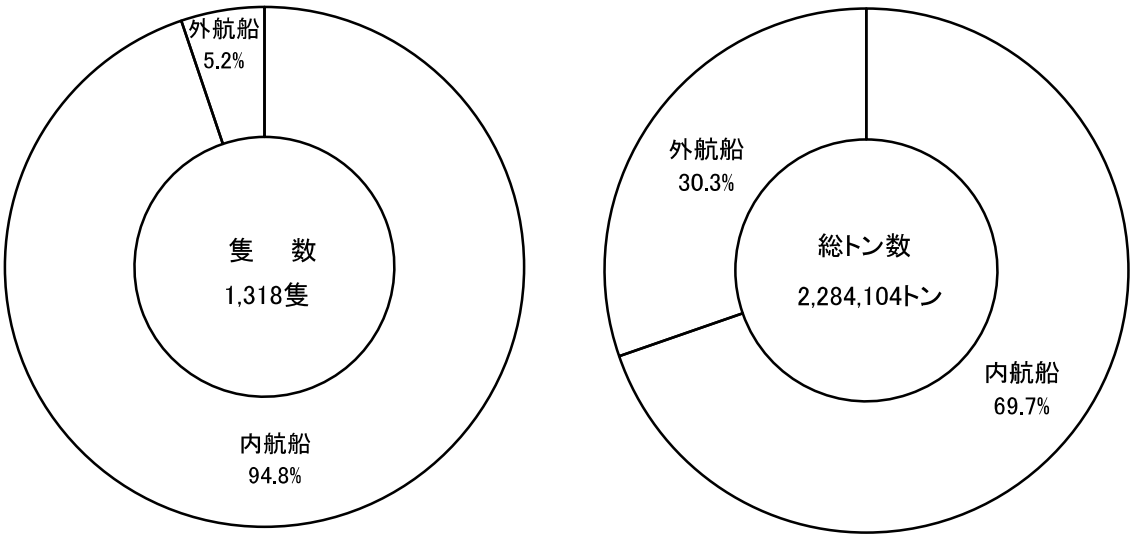
移出入貨物の品種別構成



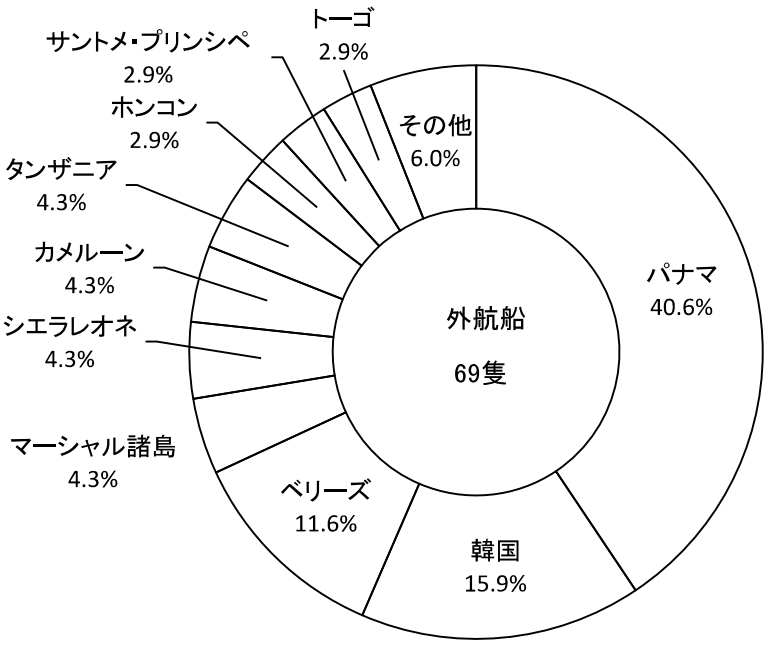
資料：令和7年 田子の浦港管理事務所「港湾統計年報」

８　令和７年田子の浦港入港船舶の構成

＜外内航船の割合＞



＜外航船の国籍＞



資料：令和７年 田子の浦港管理事務所「港湾統計年報」

９　田子の浦港入港船舶の推移

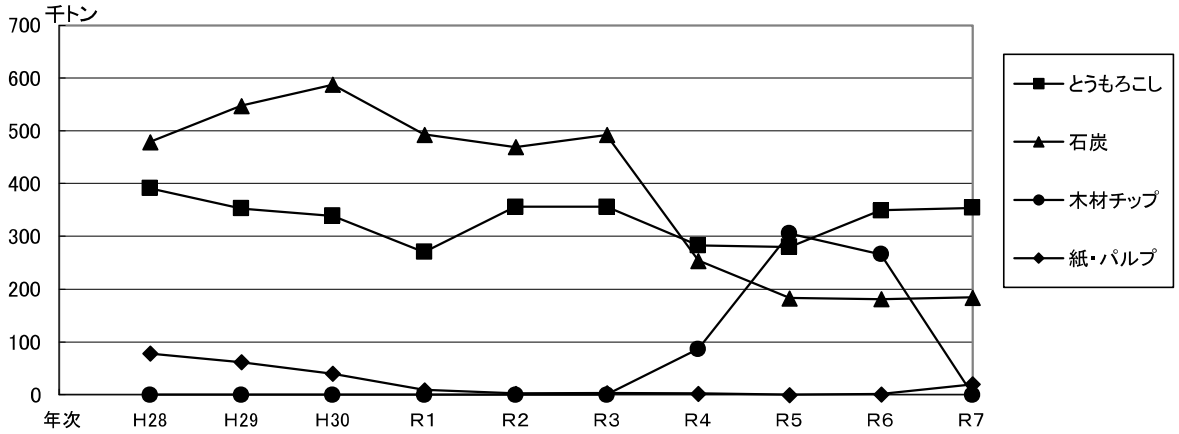
年	合　　計		外航船		内航船		Ｒ６年対比（%）	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
H21	2,804	3,745,284	157	1,558,998	2,647	2,186,286	207.4	147.5
H22	2,922	3,518,562	151	1,226,498	2,771	2,292,064	216.1	138.5
H23	2,850	3,978,212	146	1,766,593	2,704	2,211,619	210.8	156.6
H24	2,625	3,555,349	133	1,489,931	2,492	2,065,418	194.2	140.0
H25	2,334	2,947,440	133	1,095,567	2,201	1,851,873	172.6	116.0
H26	2,189	2,968,844	115	1,092,321	2,074	1,876,523	161.9	116.9
H27	2,039	3,100,366	124	1,235,922	1,915	1,864,444	150.8	122.1
H28	1,936	3,303,977	108	1,415,904	1,828	1,888,073	143.2	130.1
H29	1,828	3,276,128	113	1,436,797	1,715	1,839,331	135.2	129.0
H30	1,687	3,403,225	116	1,454,594	1,571	1,948,631	124.8	134.0
Ｒ１	1,653	2,935,833	97	1,008,324	1,556	1,927,509	122.3	115.6
Ｒ２	1,497	2,766,620	89	1,037,696	1,408	1,728,924	110.7	108.9
Ｒ３	1,501	2,614,992	73	963,921	1,428	1,651,071	111.0	103.0
Ｒ４	1,529	2,482,827	77	850,604	1,452	1,632,223	113.1	97.8
Ｒ５	1,391	2,594,368	71	950,176	1,320	1,644,192	102.9	102.1
Ｒ６	1,352	2,539,821	75	935,551	1,277	1,604,270	100.0	100.0
Ｒ７	1,318	2,284,104	69	692,205	1,249	1,591,899	97.5	89.9

資料：令和７年 田子の浦港管理事務所「港湾統計年報」

１０　主要輸入品の年次推移

単位：千トン

品名＼年次	H28	H29	H30	R１	R２	R３	R４	R５	R６	R７
とうもろこし	391	353	339	271	356	356	283	280	349	354
石　　炭	479	547	588	493	469	492	254	183	182	184
木材チップ	0	0	0	0	0	0	87	306	266	0
紙・パルプ	78	62	40	9	2	3	2	0	1	20



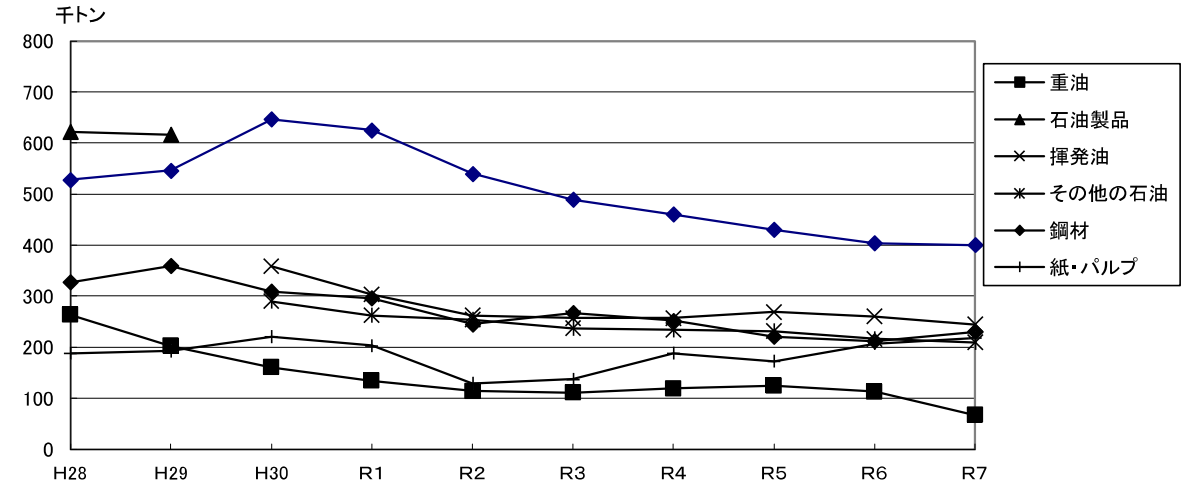
資料：令和７年　田子の浦港管理事務所「港湾統計年報」

１１　主要移入品の年次推移

単位：千トン

品名＼年次	H28	H29	H30	R１	R２	R３	R４	R５	R６	R７
セ メ ン ト	528	546	647	625	540	489	460	430	404	401
重　　油	264	202	160	134	114	111	119	124	113	67
石油製品	623	617	－	－	－	－	－	－	－	－
揮　発　油	－	－	359	303	262	257	257	269	260	244
その他の石油	－	－	290	262	254	237	234	231	216	210
鋼　　材	327	360	309	296	245	267	252	220	212	230
紙・パルプ	188	192	220	203	129	137	188	172	207	218

※H30から「石油製品」は「揮発油」と「その他の石油」に分類して集計



資料：令和７年　田子の浦港管理事務所「港湾統計年報」

Ⅴ　富士市の工業基盤・資源の概要

１　工業用水道

⑴　ふじさん工業用水道（旧東駿河湾工業用水道）

富士市及び静岡市の一部からなる東駿河湾地域は、地下水や富士川、安倍川等の豊富な流水に恵まれ、紙パルプ、化学、石油、食料品、非鉄金属工業等を中心に工業が発達した。

これらの工業の発展と港湾、道路等産業基盤整備による新規工場の立地とあいまって、両地区とも工業用水の需要が急速に増大し、特に、岳南地区では地下水の過剰揚水により地下水位が著しく低下するとともに、塩水混入の現象が顕著になり、その影響範囲も急速に拡大した。

このような中で、静岡県は、流域の工場の水需要に応じるとともに、地下水保全のため、日本軽金属株式会社蒲原工場の発電放流水を利用した工業用水道建設計画を立て、昭和41年度に着工、昭和46年12月から一部給水を開始した。近年は、産業構造の変化や節水技術の向上により水需要が減少していることから、効率的な水運用を行うため、令和４年３月から旧富士川工業用水道と統合し、ふじさん工業用水道とした。

ふじさん工業用水道（旧東駿河湾工業用水道）の浄水供給は、現在793,100㎥／日の給水能力を備えている。

ア　施設の概要

給水区域		静岡市、富士市			
給水量			岳南地区	静清庵地区	計
		計画給水量	675,600㎥／日	117,500㎥／日	793,100㎥／日
		現況給水能力	675,600㎥／日	117,500㎥／日	793,100㎥／日
給水開始年月日		昭和46年12月26日　一部給水			
工期		昭和41年度～昭和60年度（第１期工事）			
水源	種別	表流水			
	河川名	富士川			
	取水地点	静岡市清水区蒲原地先（日本軽金属発電放水路）			
	計画取水量	852,600㎥／日（9.869㎥／秒）			
施設	取送配水場	取水場１　浄水場２			
	浄水方式	傾斜板付薬品横流沈殿　沈砂池８　沈殿池28			
	送配水方式	ポンプ圧送　取水４台　中継４台　送水３台　配水池３　受水槽１			
	管路延長	94㎞ダクタイル鋳鉄管　他			
	水質（５年平均）	水温15.4℃　濁度0.9　ｐH7.5（富士川浄水場） 水温15.6℃　濁度2.1　ｐH7.5（厚原浄水場）			
料金		選択	基本料金17円／㎥　使用料金4.6円／㎥ 超過料金43.2円／㎥		基本使用料金21.6円／㎥ 超過料金43.2円／㎥

資料：静岡県企業局「企業局概要」

イ　年度別給水状況

単位：立方メートル

区分／年度	給水先数（事業所）	年間基本使用水量	年間実使用水量	１日平均水量	給水収益（税込み、千円）
Ｒ３	95	132,128,543	87,733,685	240,366	2,204,180
Ｒ４	93	110,526,624	84,259,099	230,847	2,545,680
Ｒ５	92	109,681,244	80,809,885	220,792	2,497,145
Ｒ６	92	108,839,380	80,194,174	219,710	2,498,348
Ｒ７	92	108,402,608	76,038,914	208,326	2,449,309

⑵　ふじさん工業用水道（旧富士川工業用水道）

富士市周辺は、昔から豊富で良質な地下水をもってその名を知られたところであり、明治期以降には近代製紙産業、パルプ工業が集積したが、田子の浦港の整備等と相まって岳南工業地域としてめざましい発展を遂げた。しかし、工業の発展とともに地下水の汲み上げが増大し、この過剰揚水によって地下水位の低下、井戸の相互干渉及び塩水混入の傾向が顕著にあらわれてきたため、214,000 ㎥／日の給水能力をもつ工業用水道施設を計画し、昭和 32 年度に農業用水と一部共同工事方式で富士川工業用水道建設に着手した。昭和 39 年４月から一部給水を開始し、昭和 41 年度に完成を迎えた。昭和 42 年度からは、全量給水を行っている。近年は、産業構造の変化や節水技術の向上により水需要が減少していることから、効率的な水運用を行うため、令和４年３月から旧東駿河湾工業用水道と統合し、ふじさん工業用水道とした。

ア　施設の概要

給水区域		富士市		
計画給水量		214,000 ㎥／日		
給水開始年月日		昭和 42 年４月１日（昭和 39 年４月 13 日一部給水）		
工期		昭和 32 年度～昭和 41 年度		
水源	種別	表流水（発電所放流水）		
	河川名	芝川（富士川支川）		
	取水地点	富士宮市羽鮒（芝富発電所放水路）		
	計画取水量	214,000 ㎥／日（2.477 ㎥／秒）		
施設	取送配水場	取水場１		
	浄水方式	沈砂池１（原水）		
	送配水方式	自然流下		
	管路延長	22km（うち、共用ずい道７km）ダクタイル鋳鉄管　他		
	水質（５年平均）	水温 13.5℃　濁度 3.6　ｐH7.6		
料金		選択	基本料金 11.0 円／㎥　使用料金 1.4 円／㎥ 超過料金 24.8 円／㎥	基本使用料金 12.4 円／㎥ 超過料金 24.8 円／㎥

資料：静岡県企業局「企業局概要」

イ　年度別給水状況

単位：立方メートル

区分／年度	給水先数（事業所）	年間基本使用水量	年間実使用水量	１日平均水量	給水収益（税込み、千円）
Ｒ３	10	9,862,911	7,442,966	20,392	87,559
Ｒ４	10	9,117,109	7,588,703	20,791	124,283
Ｒ５	10	9,228,035	7,586,742	20,729	126,722
Ｒ６	10	9,270,199	7,309,067	20,025	124,133
Ｒ７	10	9,131,962	7,140,850	19,564	121,650

⑶　工業用水道業種別契約水量の推移

ア　ふじさん工業用水道（旧東駿河湾工業用水道）　　単位：（給水先数）立方メートル／日

	R4. 3. 26		R5. 3. 26		R6. 3. 26		R7. 3. 26		R8. 3. 26	
食料品関連	(7)	20,768	(7)	20,768	(7)	21,146	(7)	20,768	(7)	20,768
紙・パルプ	(46)	211,531	(44)	208,681	(43)	205,419	(43)	205,419	(43)	205,419
化学・石油	(16)	40,854	(16)	40,854	(16)	40,854	(16)	40,854	(16)	40,854
金属製品	(5)	7,017	(5)	7,017	(5)	7,017	(5)	7,017	(5)	7,017
電気・機械	(4)	9,592	(4)	9,592	(4)	9,592	(4)	9,592	(4)	9,592
その他	(17)	10,792	(17)	10,792	(17)	11,092	(17)	11,032	(17)	11,032
合計	(95)	300,554	(93)	297,704	(92)	295,120	(92)	294,682	(92)	294,682
静庵地区計	(27)	38,407	(27)	39,707	(27)	38,407	(27)	38,347	(27)	38,347
①岳南地区計	(68)	262,147	(66)	257,997	(65)	256,713	(65)	256,335	(65)	256,335
紙・パルプ	(46)	205,931	(44)	201,781	(43)	199,819	(42)	199,819	(42)	199,819
その他	(22)	56,216	(22)	56,216	(22)	56,894	(23)	56,516	(23)	56,516

イ　ふじさん工業用水道（旧富士川工業用水道）　　単位：（給水先数）立方メートル／日

	R4. 3. 26		R5. 3. 26		R6. 3. 26		R7. 3. 26		R8. 3. 26	
食料品関連	(1)	12,493	(1)	11,900	(1)	12,400	(1)	11,339	(1)	11,339
繊維工業	－		－		－		－		－	
紙・パルプ	(6)	9,138	(6)	9,138	(6)	9,138	(6)	9,138	(6)	9,138
化学・石油	(2)	4,219	(2)	4,219	(2)	4,219	(2)	4,219	(2)	4,219
その他	(1)	100	(1)	100	(1)	100	(1)	100	(1)	100
②合計	(10)	24,796	(10)	25,357	(10)	25,857	(10)	24,796	(10)	24,796

	R4. 3. 26		R5. 3. 26		R6. 3. 26		R7. 3. 26		R8. 3. 26	
合計 （富士市①＋②）	(78)	286,943	(79)	342,184	(78)	286,943	(75)	281,131	(75)	281,131

資料：静岡県企業局「企業局概要」

２　工業排水（岳南排水路）

⑴　概要

岳南排水路は、用水型企業の多い岳南地区において、工業の発展に伴い工場排水が耕地等に流入しないようにするため、昭和 26 年度から整備されてきた工業専用の都市下水路である。

対象地域は富士市と富士宮市にわたり、86 の工場からの排水が２か所の吐口を経て、田子の浦港に流入している。

管路の総延長は約 38 キロメートル、１日の排水能力は約 180 万立方メートルで、排水量に応じた使用料金を徴収している。管理は、岳南排水路管理組合で行っている。

⑵　岳南排水路の利用状況（令和７年度）

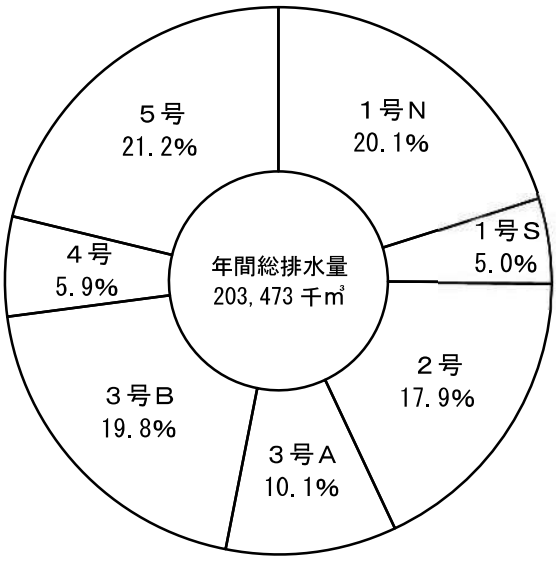
岳南排水路から田子の浦港に流入した工場排水量の実績は、年間 203,473,029 立方メートル、日量は、61 万立方メートルと推定される。排水量上位 10 工場の排水は、全体の 52.0 パーセントを占めている。

ア　排水管路別工場数（令和８年２月末現在）

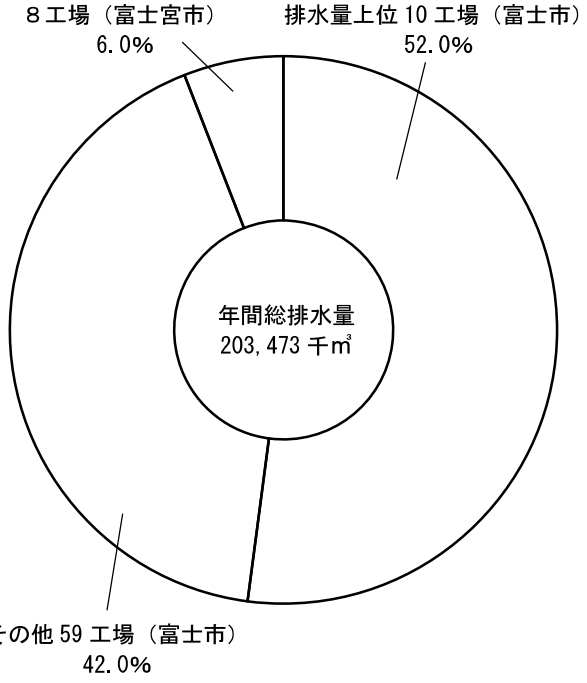
管路名	富士宮市	富士市							合計
	１号N	１号N	１号S	２号	３号A	３号B	４号	５号	
工場数	8／9	17／18	13／14	17／22	7／7	6／7	3／3	6／6	77／86

※実稼動工場数／使用工場数　　資料：岳南排水路管理組合

イ　管路別年間排水量
（令和７年度）



ウ　事業所別排水量の割合
（休止工場は含まず。）



エ　年間総排水量の経年変化

